



Scan QR code
for the latest manual
<https://sur-ron.jp/>

製造元：重慶秋龍科技有限公司

住所：中国重慶市大渡口区七迭街石才村2号29号

販売元：株式会社コハク ジャパン

住所：葛飾区水元3-22-23

電話：03-5876-5058

郵便番号：125-0032

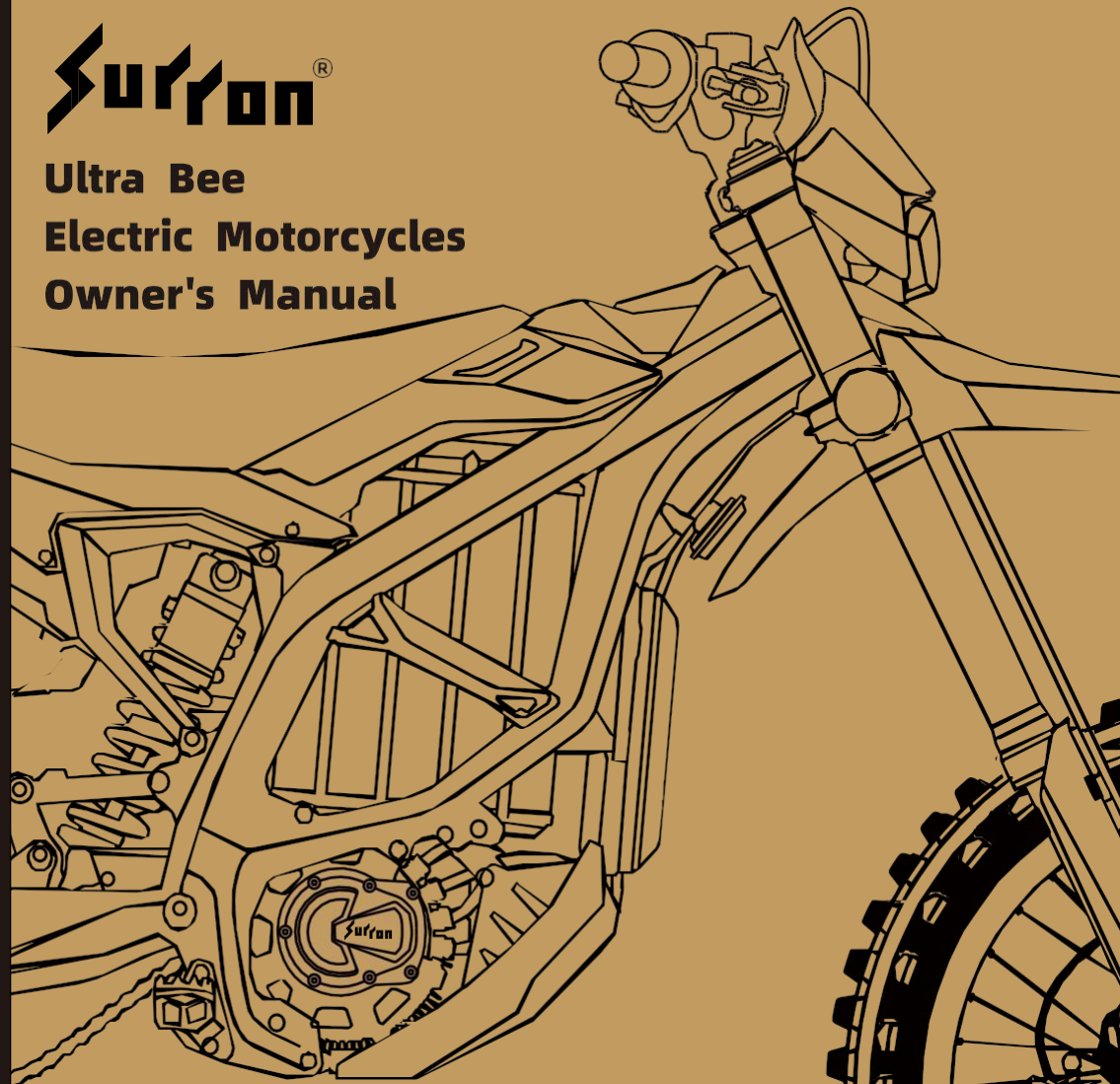
バージョン：1.0

発行日：2025.12.04

本マニュアルは、Ultra Bee電動バイクについてより深く理解していただくためのものです。乗車前に、本マニュアルおよびすべての安全ラベルを十分にお読みください。
本マニュアルには印刷時点での最新製品情報が記載されていますが、お客様のモーターサイクルの外観や設定は本マニュアルの情報と異なる場合があります。最新情報や追加情報については、当社ウェブサイト www.surron.jp をご確認ください。



Ultra Bee Electric Motorcycles Owner's Manual



本マニュアルは、以下のモデルを対象としています：



Ultra Bee T HP
Ultra Bee X HP
Ultra Bee R HP

最大航続距離のためのライディングのコツ

ウルトラビーの満充電時の走行距離は、ガソリンバイク同様に変動します。ウルトラビーの走行距離の**変動**は、満充電後の走行状況に起因します。運転習慣に加え、エネルギー消費量は環境条件（極寒・酷暑、急勾配の坂道や柔らかい砂地での走行など）にも影響を受けます。満充電1回あたりの最大走行距離を達成するには、最高速度を抑え、急加速を控え、一定の速度を維持して最大走行距離を確保するようご注意ください。

最大航続距離を達成するには、以下のポイントに従ってください：

- 1. 頻繁かつ急激な加速・制動を避けてください。
- 2. 適正なタイヤ空気圧を維持してください（推奨空気圧表は10.9ページ参照）。
- 3. 不要な荷物を除去して積載量を減らす。
- 4. 冬や夏の最大走行距離は若干異なる場合があります。

上記の要素とご自身の走行習慣に基づいてバイクの走行距離を推定できます。

注記

オフロード走行時の様々な過酷な路面状況により、走行距離は大きく変動します。

はじめに.....	2
重要なお知らせ.....	1.1
輸 送	1.2
安全情報.....	1
安全運 転要件.....	2.1
重 要 な 情 報。.....	2.3
重 要 な ラ ベ ル の 位 置	2.5
機能	3.1
ディスプレイとインジケーター.....	4.1
ダッシュボードの概要.....	4.1
機 能 設 定	5.1
ダッシュボード設定.....	5.1
システム機能モード表示。.....	5.3

Feature	イントロダクション。	6.1
	ハンドイ・パー・コントロール	6.1
	走行モードスイッチ	6.4
	駐車リマインダー	6.5
	パーキングブレーキ操作	6.5
	バッテリーパックの取り外し	6.6
	バッテリーパックの取り付け。	6.7
	充電器の保管。	6.8
	計器用時計電池	6.9
	T-BOXバインディング	6.9
	起動と操作	7.1
	乗車前の点検	7.1
	キースイッチ	7.1
	ステアリングロック	7.2
	シートロック	7.3
	始動および操作	7.3
	温度インジケーター	7.4
	フロントフォークの調整	7.5

	リアショックの調整。	7.6
	電力管理。	8.1
	バッテリーパック	8.1
	電源供給および充電。	8.2
	電源システム管理	9.2
	電力システム	9.1
	保守。	10.1
	保守項目	10.1
	保守記録	10.1
	定期メンテナンス。	10.1
	保守スケジュール。	10.1
	トルク管理。	10.3
	バッテリーパック。	10.5
	ブレーキシステム。	10.5
	ブレーキフルード点検	10.5

サスペンションシステム。	10.8
ホイールとタイヤ	10.8
チェーン	10.9
ヘッドライト調整	10.10
ライト交換	10.11
オートバイの清掃	10.12
長期保管。	10.13
ウルトラビー部品。	10.14
ヒューズ。	10.i 4
オートバイの電気回路図	
：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：	
：：：：：：：：：：：	
トラブルシューティング	11.1
UltaraBeeElectricMotorcycleTroubleshooting	1.1
温度に関する注意事項	1 1
安全インターロック	1 1
ウルトラビーの注意事項	1 1.2
システム警告メッセージ	11.3
トラブルシューティング	1.8

保証	情報。.....Z.
保証条件.....	2.1
S u r r o モーターサイクルの保証期間.....	12.1
保証の対象となる部品.....	12.2
保証対象作業時間。.....	12.2
保証の一般的な除外事項。.....	12.2
0 責任.....	2.3
保証の制限。.....	12.4
保証サービスの取得方法.....	12.5
安全上の欠陥の報告.....	12.5
付録.....	13.1
保守記録シート。.....	13.1
アフターセールスサービス記録シート。.....	13.7
パラメータリスト。.....	13.3

重要なお知らせ

サーロンをご購入いただき、誠にありがとうございます。

サーロン・モーターサイクルのライダーコミュニティへようこそ。あなたは今、長く楽しみをもたらす最先端の電動バイクのオーナーとなりました。

本電動バイクは主にオフロードでの使用における通常の負荷に耐えるよう設計・製造されており、公道走行が認可されているのは公道仕様車のみです。本車両は所定の用途でのみ使用してください。意図しない使用は、人・財産・環境への危険を招く可能性があります。

本マニュアルは、この電動バイクの操作方法、点検方法、基本的なメンテナンス要件、主な機能、役立つヒント、および重要な安全事項について理解を深めていただくために作成されています。オーナーズマニュアルを注意深くお読みいただき、バイクの運転時には慎重に行動し、ご質問がある場合はSurrönまたはSurrön正規販売店までお問い合わせください。最新のマニュアルおよびバイクに関する追加情報については、Surrön公式ウェブサイトをご覧ください：

https://sur-ron.jp/

本マニュアルは個人使用のみを目的としており、商用利用は禁止されています。保護するため、ウルトラビーの適切なメンテナンスを自己責任で行ってください。定期点検は必須であり、慣らし運転ガイドラインの遵守、および本マニュアルに記載されている乗車前点検やその他の定期点検の実施と同様に重要です。本マニュアルは本車両の恒久的な付属品とみなされ、たとえ車両が後に売却された場合でも同梱されるべきです。一部の国・地域・州の法的規制に従い、次期所有者が確実に本マニュアルを受け取るようご注意ください。

本書に記載されているすべての仕様は拘束力を持ちません。本マニュアルでは「警告！」という語句を用いて、自身や他者に危害を及ぼす可能性のある事項を示します。本マニュアルにおける「右」または「左」の表記は、ライダーがオートバイにまたがった状態での右側または左側を指します。

バイクの操作やメンテナンスに関するご質問、特別なサービスや修理が必要な場合は、お近くの正規サーロンモーターサイクル販売店までお問い合わせください。

常に安全で素晴らしいライディングをお楽しみください。

車両の輸送

輸送中は電動バイクをラチェットストラップで輸送フレームに確実に固定することを強く推奨します。また、傷やその他の損傷を軽減するため、ソフトストラップの使用も推奨されます。

図示のポイントに従いラチェットストラップを固定することを推奨します。前方の2本はハンドルバーに、後方の2本は左右のスイングアームに固定してください。ストラップを固定する際、チェーンやブレーキラインを損傷しないようご注意ください。固定ストラップはバイクに対して45度の角度で設置してください。使用するラチェットストラップについては、メーカーの本マニュアルに従ってください。

ウルトラビーをトラックやオートバイトレーラーで輸送する場合、以下のガイドラインに従うことをお勧めします：

1. 積載用スロープを使用してください。
2. オートバイ固定用ストラップでオートバイを直立状態で固定してください。

3. ロープの使用は避けてください。ロープはオートバイを倒れやすくする恐れがあります。

ウルトラビーを固定する際は、前輪をトラック荷台またはトレーラーのレール前部に固定してください。

2本のストラップの下端を、トラック荷台またはトレーラーのレールにある固定フックに取り付けます。ストラップの上端を手柄バー（右側と左側に1本ずつ）に、フォークに近い位置で取り付けます。

固定ストラップが操作ケーブルや電気配線に触れていないことを確認してください。

フロントサスペンションが約半分圧縮されるまで両方のストラップを締めます。過度な圧力は不要であり、フォークシートを損傷する可能性があります。

別の固定用ストラップを使用して、オートバイの後部が動かないように固定してください。

ウルトラビーを横倒し状態で輸送することは推奨しません。これによりバイクが損傷する可能性があります。

安全運転要件

ご自身の安全に責任を持ち、走行中に直面する可能性のある課題を理解すれば、電動バイクは長年にわたり快適で楽しい乗り物となるでしょう。走行中の自己防衛策は数多く存在します。オフロードレースは、優れたバイクだけでは不十分な、身体的に過酷なスポーツであることを認識してください。好成績を収めるには、優れた身体能力と熟練したライディング技術が不可欠です。最高の結果を得るためには、体力トレーニングに励み、頻繁に練習を重ねてください。

この電動バイクは主に、オフロード使用における通常の負荷や歪みに耐えるよう設計・製造されています。

本車両は所定の用途でのみ使用してください。それ以外の使用は、人・財産・環境に対する危険を招く恐れがあります。

本マニュアルには多くの有用な推奨事項と安全指示が記載されています。以下に特に重要と考える事項をいくつか挙げます。

ウルトラビーは高性能電動バイクであり、細心の注意を払って扱う必要があります。

潜在的な負傷リスクを軽減するため、乗車時には地域/国家基準適合ヘルメット、ライディングブーツ、ゴーグル、グローブ、保護服を含む適切な安全装備を着用してください。

スキル向上のための練習時、競技走行時を問わず、適切な安全装備（地域/国家認定ヘルメット、ライディングブーツ、ゴーグル、グローブ、保護服を含む）を着用してください。モーターサイクル事故による負傷の大半が足首・脚・足への衝撃によるものであるため、フルレングスのモトクロスブーツの使用を強く推奨します。

電動バイクを操作する前に、本マニュアルの警告および指示、ならびにバイクに貼付されている安全ラベルをすべてお読みください。

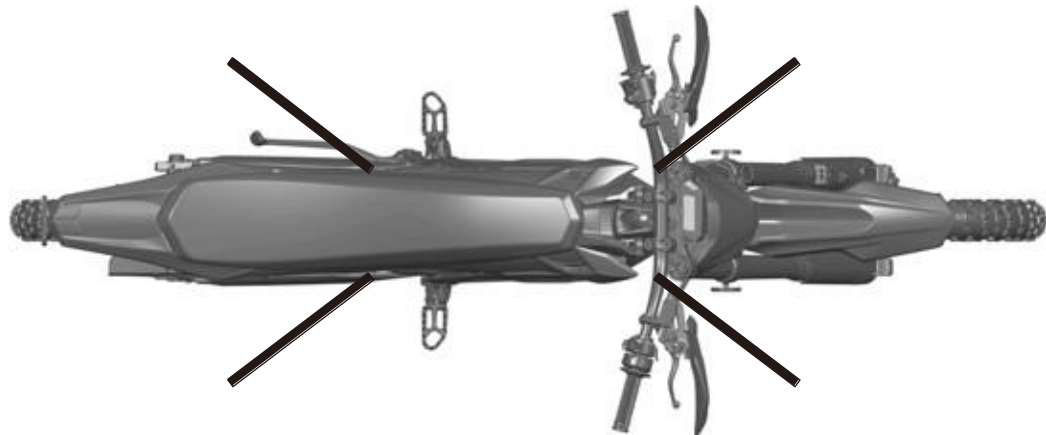
適切な指導なしに、他人に電動バイクを運転させてはいけません。

運転前に、オートバイを運転するための法的資格を有していることを確認してください。

電動バイクの運転前には、絶対にアルコールや薬物を摂取しないでください。たとえ少量でも、状況変化への対応能力が低下し、摂取量が増えることに反応時間が悪化します。したがって、飲酒・薬物摂取後の運転は厳禁です。友人や他人の飲酒運転も絶対に許さないでください。

ウルトラビーの運転には責任を持って臨んでください。危険運転や無謀運転は絶対に行わないでください。地域の法令に違反し、公共の安全やご自身の安全を脅かす運転は避けてください。

ウルトラビーを十分に理解する時間を取ってください。すべてのモーターサイクルは個性的です。この一台の操作方法や反応特性を徹底的に把握するために時間をかけてください。



ご自身のマシンとご自身を競技に投入する前に、

自身の限界を理解し、尊重してください。決して限界を超える運転は行わないでください。

個人の能力を超えたり、状況が許容する速度を超えて走行しないでください。アルコール、薬物、病気、疲労は安全な運転能力を低下させる可能性があることを忘れないでください。

ウルトラビーを安全な状態に保ってください。サーロン純正部品およびサーロンモーターサイクル純正アクセサリーのみを使用してください。ウルトラビーを適切に維持することは安全上極めて重要です。例えば緩んだボルトは故障を引き起こし、重大な負傷につながる可能性があります。技術的に完璧な状態にある場合のみ、本来の用途に従い、安全かつ環境に配慮した方法で車両を操作してください。

このモーターサイクルは高電圧電動バイクです。電動モーター使用時の安全・注意事項を遵守してください。リチウムイオン（Li-ion）バッテリーから異臭を感じた場合は、可燃物から離れた屋外の安全な場所にウルトラビーを駐車し、キースイッチをオフにしてください。

お近くのサーロン正規販売店にご連絡いただき、Ultra Bee の点検を直ちに依頼してください。

ご使用の前に、ライダーは 7.1 ページの「乗車前の点検」に記載されているすべての項目と、ダッシュボードディスプレイに表示されるバッテリーパックの充電レベルを必ず確認してください。

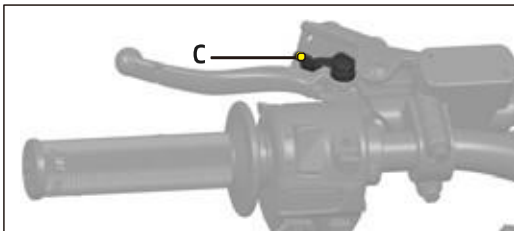
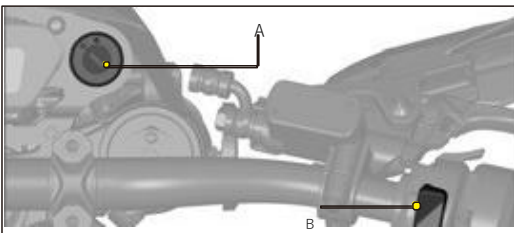
オートバイを適切に整備し、安全な走行状態に保つことが重要です。故障は厄介な問題となり、特にオフロードで基地から遠く離れた場所で立ち往生した場合はなおさらです。トラブルを避けるため、毎回の走行前にオートバイを点検し、本マニュアルに記載されている整備スケジュールと調整要件に従って推奨されるすべての整備を実施してください。走行前の全項目点検の重要性を必ず理解してください。Ultra Bee がオフロード仕様の場合、本車両はオフロード専用で設計・製造されていることを認識してください。タイヤは舗装路使用に適さず、方向指示器など公道走行に必要な装備も備えていません。舗装路や公道を横断する必要がある場合は、他の認可車両で輸送するか、バイクから降りて目的地まで押して移動してください。

リアブレーキレバーはハンドルバーの左側に位置しています。この電動バイクにはマニュアルトランスミッションが搭載されていないため、クラッチやギアチェンジ機構は存在しません。

ウルトラビーの改造は、走行時の安全性を損ない、重大な負傷を引き起こす可能性があります。サーロン社は、いかなる無許可改造についても責任を負いません。

ウルトラビーに重い物や大型の物、追加アクセサリーを積載しないでください。大型でかさばる物品は、ウルトラビーの安全性と性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

安全運転要件



重要な操作上の注意事項を以下に列挙します：

走行していない時は、必ずキースイッチAとエンジン停止スイッチBをOFFの位置に切り替えてください。バイクがスタンバイ状態にあることを忘れてしまうことは非常に簡単です。

完全に無音であるため、スタンバイモードのままになっていることを忘れがちです。乗降時に電源を入れたままにすると事故が発生する恐れがあります。

車両を押し引きする際は、必ずエンジン停止スイッチBをOFFにし、READYインジケータが消灯していることを確認してください。

傾斜路や急勾配の坂道で停車する際はパーキングブレーキCを使用してください。傾斜路や急勾配の坂道でバイクを静止させるためにスロットルを部分的に開けたままにしないでください。ロックドロータープロテクションが作動し、バイクが後退する恐れがあります。

本車両には充電式リチウムイオンバッテリーが搭載されています。バッテリーパックはシート下に配置されています。電動バイクの使用後は毎回バッテリーパックを充電してください。充電が完了したら、AC電源から必ず切り離してください。充電は安全な開放空間、または監視下で実施してください。

キーをOFFの位置にした状態でバッテリー電源プラグを抜くと、電動バイクの電子部品が微量の電力を消費し、バッテリーパックの電力が非常にゆっくり消耗します。長期間（30日以上）乗らない場合は、次に乗る前に電動バイクを数時間充電する必要があります。

バッテリーパックは、低電力状態で長期間保管すると損傷または、過放電状態となり、バッテリーへ著しく損傷を与え、また過放電状態からの復旧に専門知識を持つ業者への依頼が必要となりますのでご注意ください。

警告

Ultra Beeリチウムイオンバッテリーパックは、メーカー純正充電器またはSurrón認定充電器でのみ充電してください。バッテリーパックは車両内に設置されている状態でのみ使用してください。

バッテリーパックは完全放電を必要とせず、またその恩恵も受けません。バッテリーパック

の寿命を最大限に延ばすためには、乗車後は毎回充電してください。バッテリーパックを常に完全放電状態に放置すると、バッテリーセルが損傷します。

本マニュアルに記載されたバッテリーパックの保管および充電に関する指示に従わない場合、車両の保証が無効となる可能性があります。これらのガイドラインは、バッテリーパックの効率と性能を最大限に確保するため、厳密にテストされています。

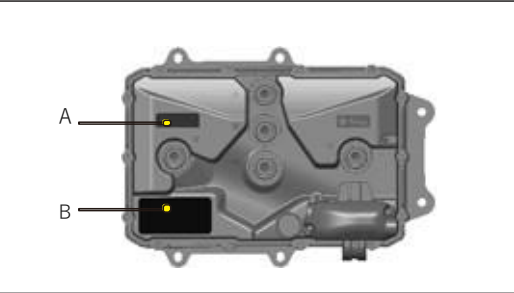
注記

バッテリーパックには環境に有害な可能性のある部品や要素が含まれています。バッテリーパックを適切に廃棄してください。家庭用ゴミ等にバッテリーを絶対に捨てないでください。

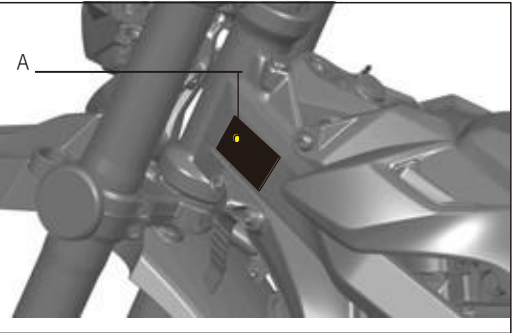
重要なラベルの位置



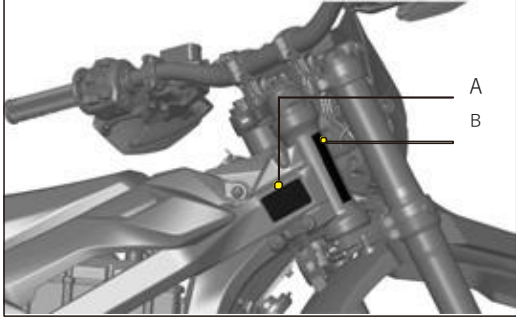
コントローラー推奨トルクラベルA、コントローラー情報ラベルB



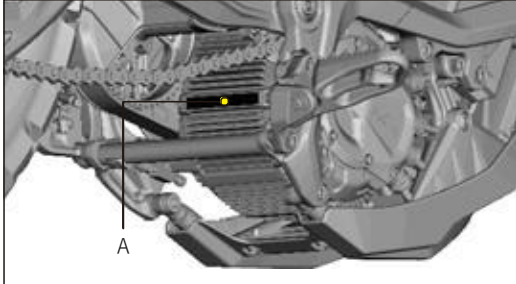
FCC / ICES 認証ラベルA



車体番号プレート A、車体番号 ラベル B



モーターシリアル番号 A



T-BOX（テレマティクスボックス）シリアル番号ラベル



車両 VIN ラベル



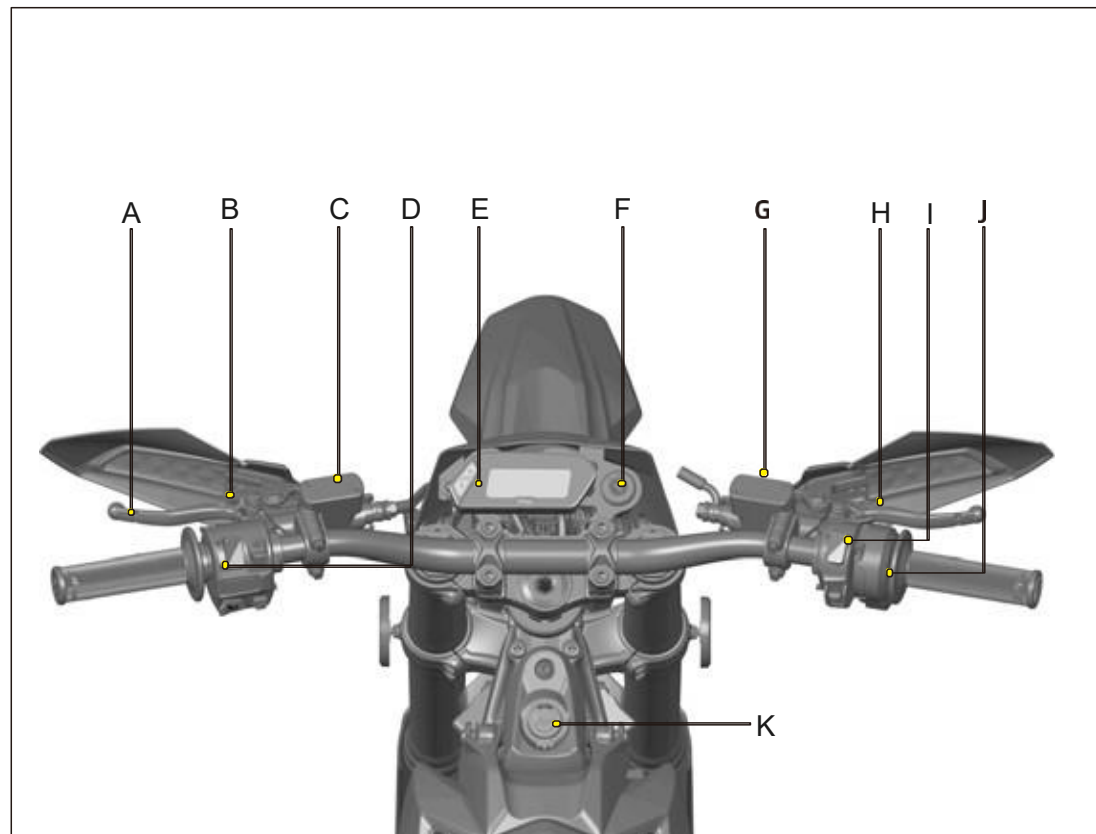
Surron公式ウェブサイトのダウンロードセンターにアクセスしてください。

本マニュアルはここからもダウンロードできます。



このQRコードをスキャンしてダウンロードセンターにアクセスしてください。



**A. リアブレーキレバー**

説明および操作については、6.1 ページの「機能紹介」を参照してください。

B. パーキングブレーキレバー

説明および操作については、6.J ページの「機能紹介」を参照してください。

C. リアブレーキフルードリザーバー

説明および操作については、10.5 ページの「メンテナンス」を参照してください。

D. 左コンボスイッチ

説明および操作については、6.1 ページの「機能紹介」を参照してください。

E. ダッシュボード

説明および操作については、4.1 ページの「表示およびインジケーター」および 5.1 ページの「機能設定」を参照してください。

F. キー・スイッチ

説明および操作については、7.1 ページの「始動および操作」を参照してください。

G. フロントブレーキフルードリザーバー

説明および操作については、「メンテナンス」を参照してください。

H. フロントブレーキレバー

説明および操作については、6.3 ページの「機能紹介」を参照してください。

I. 右側コンビネーションスイッチ

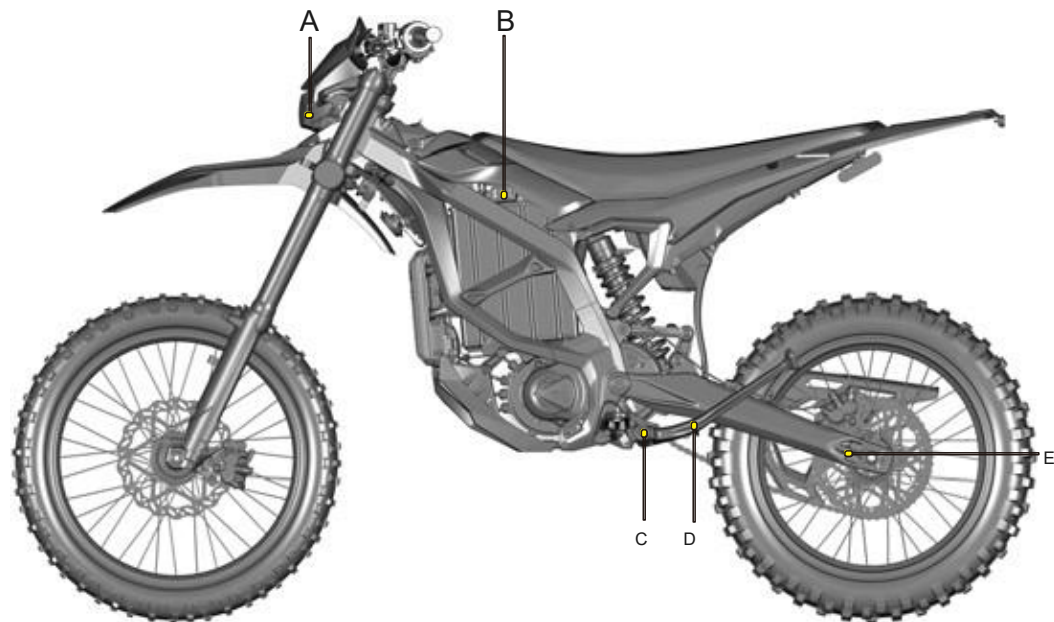
説明と操作については、6.3 ページの「機能紹介」を参照してください。

J. スロットルグリップ

説明および操作については、6.3 ページの「機能紹介」をご覧ください。

K. USBポート

5V 2.4A USB A ポート

**A. ヘッドライト**

ヘッドライトの操作については、6.1ページの「機能紹介」を参照してください。

ヘッドライトの交換については、10.12ページの「メンテナンス」を参照してください。

ヘッドライトの調整については、10.11ページの「メンテナンス」を参照してください。

B. 内蔵バッテリー充電ポート

説明および操作については、8.1ページの「電源管理」を参照してください。

C. サイドスタンドスイッチ

このスイッチは安全センサーであり、サイドスタンドが下がっている状態での誤ったオートバイ操作を防止します。

D. サイドスタンド

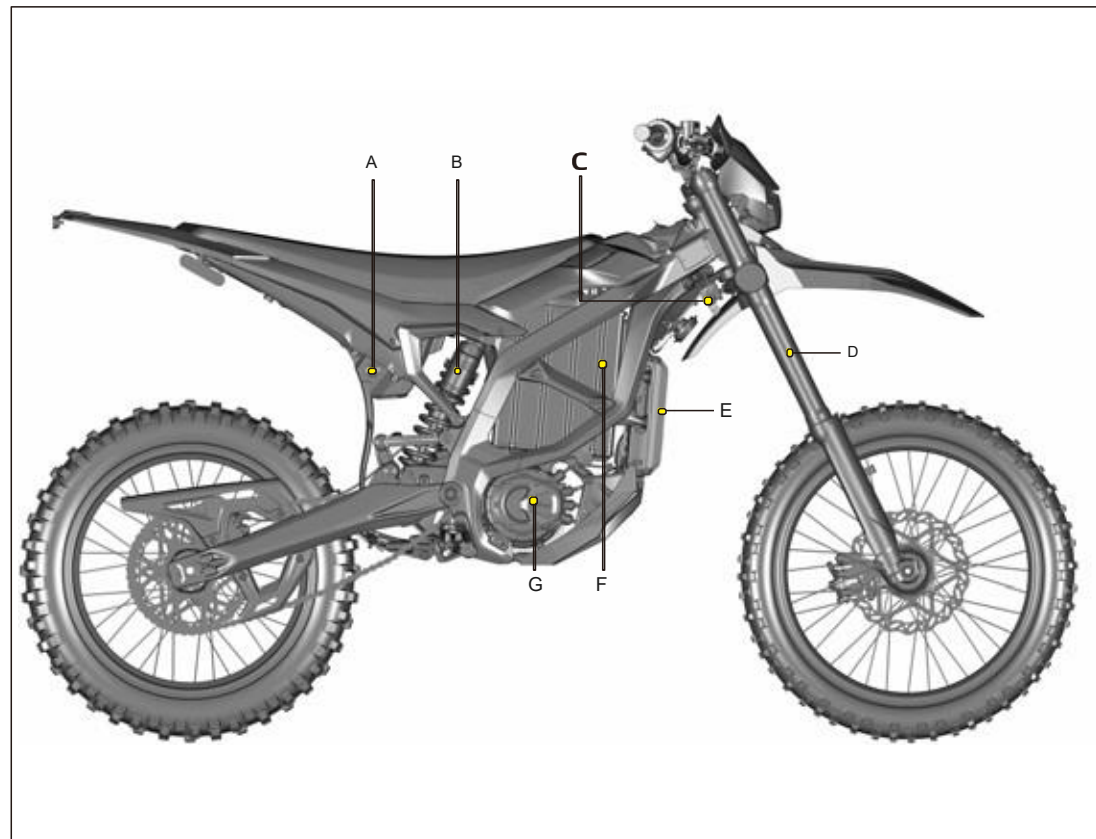
サイドスタンドは駐車時にオートバイを支えます。駐車時はキースイッチをOFFの位置にしてください。

----- 注意 -----

オートバイは平らで固い場所にのみ駐車してください。そうしないと、オートバイが倒れて損傷する恐れがあります。

E. チェーンアジャスター

スイングアームの左右側にあり、張力調整の手順については、J 0.9 ページの「メンテナンス」を参照してください。



A. シートロック

説明および操作については、7.3 ページの「始動および操作」を参照してください。

B. リアショックアブソーバー

説明と操作については、7.8 ページの「始動と操作」を参照してください。

C. ステアリングロック

説明および操作については、7.2 ページの「始動および操作」を参照してください。

D. フロントフォーク

説明および操作については、7.7 ページの「始動および操作」を参照してください。

E. MCU

説明および操作については、9.1 ページの「電源システム管理」を参照してください。

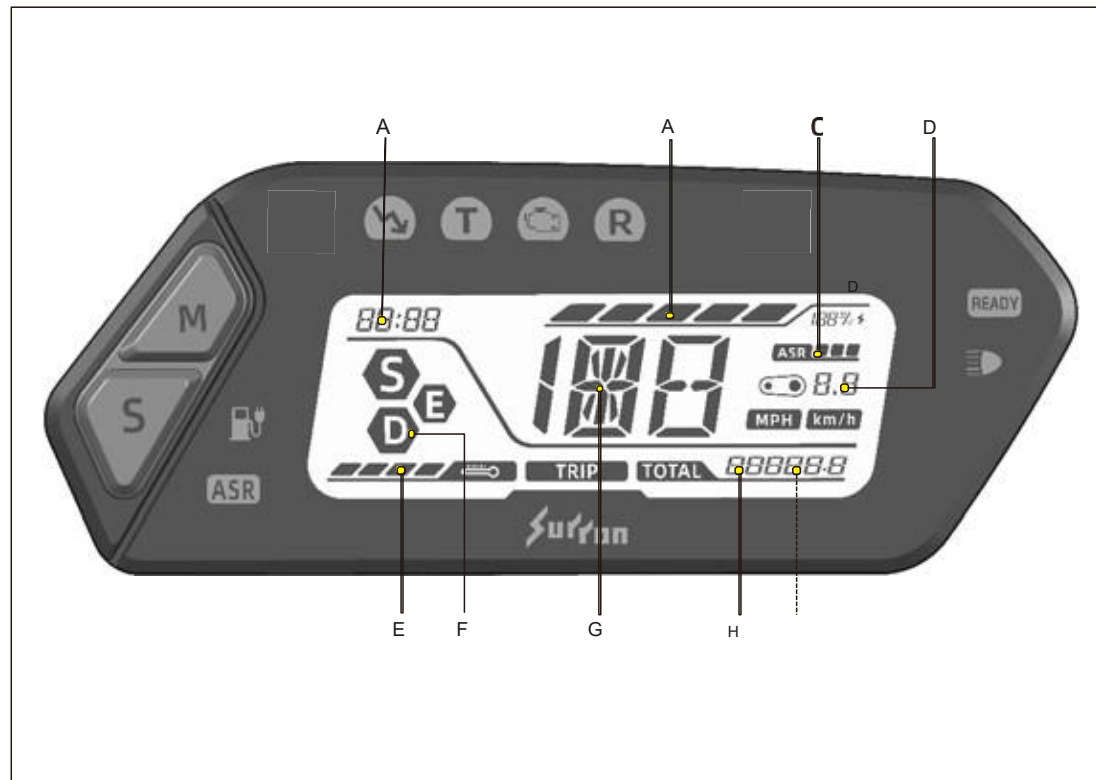
F. バッテリーパック

説明および操作については、8.1 ページの「電力管理」を参照してください。

G. モーターおよび減速ギアボックス

仕様および操作については、9.1 ページの「動力システム管理」を参照してください。

4.1 設定モード



A. 時計

時計は 24 時間制で時刻を表示します。

B. 充電インジケータ

この 5 セグメントのインジケータと表示は、バッテリーバックに残っているエネルギー量を表示します。これは、ガソリンエンジン搭載のオートバイの燃料計に似ています。

C. ASRインジケータ

このインジケータは、現在の ASR（トラクションコントロール）レベルを表示し、ASR がオフになると消えます。

D. ギア比表示

ウルトラビーの現在の変速比を表示します。これにより、異なるスプロケット/ホイールサイズ使用時の速度計の変更が可能です。

E. 温度インジケータ

温度インジケータはダッシュボードLCDディスプレイの左側に位置し、モーター、MCU、バッテリーバックの総合温度を表示します。いずれかの部品の温度が最大温度制限を超えた場合、温度インジケータが点滅を開始します。詳細な説明と操作については、7.4ページの「始動と操作」を参照してください。

F. 走行モード

この領域には、SPORT、ECO、DAILYの走行モードに対応する選択された走行モード（S、E、D）が表示されます。走行モードスイッチは右ハンドルバーに配置されています。

詳細な説明と操作については、6.4ページの「機能紹介」を参照してください。

G. 速度計

速度計は、キロメートル毎時 (km/h) またはマイル毎時 (mph) でデジタル表示されます。説明と操作については、5.1ページの「機能設定」を参照してください。

H. 走行距離計

走行距離計は、走行した総距離をキロメートルまたはマイルで表示します。

I. 警告コード表示

システムの故障が検出されると、対応する警告コードがこの領域に表示されます。警告コードの説明については、11.4 ページの「トラブルシューティング」を参照してください。

機能紹介

A. 低電力インジケータ

このインジケータは、パワーシステムの状態を表示します。連続点滅は、パワーモードが低下していることを示します。



B.ターボモードインジケータ

点灯状態の時はターボモードが利用可能です。R/Tボタンを2回押すとターボモードが起動し、インジケータがゆっくり点滅します。ターボモードの10秒が終了間近になると、高速で点滅します。



C. ステム警告インジケータ

障害が検出されると、このインジケータが点灯します。詳細な警告コードについては、11.4 ページの「トラブルシューティング」を参照してください。



D. リバースモードインジケータ (R)

逆モードが使用可能になると点灯し、逆モードが作動すると点滅します。リバースモードが使用中です。リバースモードがOFFになるとインジケータは消えます。



E. 低エネルギー/充電インジケータ

バッテリーパックの残量が少ない場合 (充電状態 (SOC) < 20%)、低エネルギー残量が非常に低い場合 (SOC < 5%)、インジケータが点滅します。また、モーターサイクルが充電中にもインジケータが点滅します。



G. レディインジケータ

インジケータが点灯すると、オートバイは走行準備完了を示します。インジケータが点灯したらスロットルを回すと、バイクが動き出します。



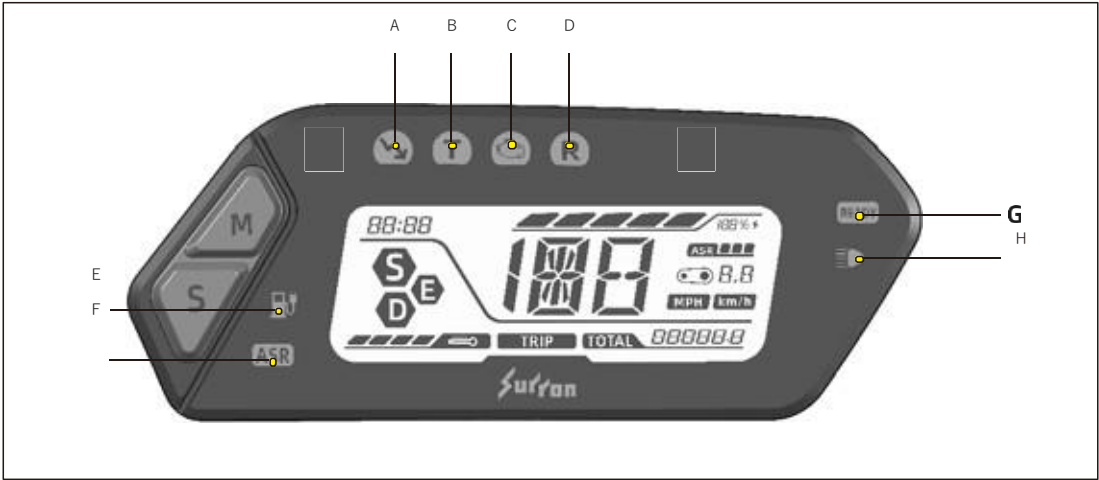
F. ASR (トラクションコントロールシステム) インジケータ

ASR (加速スリップ制御) トラクションコントロール機能はASRボタンでON/OFFを切り替え、作動時はASRインジケータが点灯し、ASRがOFFになると消灯します。ASRインジケータが点滅している場合は、速度センサーまたはASR機能が故障していることを示します。



H. ハイビームインジケータ

ハイビームが点灯しているとき、このインジケータが点灯します。





ダッシュボード設定

ハンドルバーコントロールの M ボタンと S ボタンを使用して、オートバイの機能や表示を個人の好みに合わせてカスタマイズすることができます。

モードボタン (M)

M ボタンを短押しまたは長押しすることで、フィールドをリセットしたり、メニューや表示オプションを切り替えたりできます。

選択ボタン (S)

機能メニューに入ったら、S ボタンを押して対応する機能を選択します。

表示 - 走行距離計



- FETCH LUG HT-

@-

総走行距離またはトリップ走行距離を選択:

1. **TRIP** 走行距離計 (**TOTAL**) とトリップメーター (**or**) の表示を切り替えるには、車両が完全に停止した状態で、ダッシュボードがメイン表示モードのときにMボタンを短く押します。

2. 走行距離が表示されている状態で、バイクが完全に停止している場合、速度計表示領域には最高速度が表示されます。バイクが動き始めると、速度計は瞬時に現在の速度を表示します。

走行距離と最高速度のリセット：走行距離と最高速度をリセット

するには、

走行距離モードで、メイン表示モードのダッシュボードが表示され、バイクが完全に停止している状態で、Sボタンを2秒以上同時に押し続けてください。

単位表示 - 速度



マイル毎時 (MPH) またはキロメートル毎時 (km/h) の選択:

1. モーターサイクルのキースイッチがOFFの位置にある状態で、Mボタンを

押し続けながらキースイッチをONに切り替えます。この際、Mボタンを2秒以上押し続けたままにしてください。その後、

マイル毎時 (MPH) とキロメートル毎時 (km/h) を切り替えます。

2. **MPH** マイル毎時 (MPH) が選択されると

3. **km/h** キロメートル毎時 (km/h) が選択されると表示されます。

表示- 変速比



変速比設定:

オートバイのキースイッチがOFFの位置にある状態で、Sボタンを押し続けながらキースイッチをONに切り替えます。Sボタンを2秒以上押し続けたままONにす

ると、変速比設定モードに入ります。この時「**8.8**」インジケーターが点滅します。変速比を調整するには、MボタンまたはSボタンを短く押しします。Sボタンを短押しするとギア比が0.1ずつ減少し最低ギア比まで低下します。Mボタンを短押しすると0.1ずつ増加し最高ギア比まで上昇します。長押しすると

Mボタンを2秒以上長押しすると現在の設定が保存されます (5秒間操作がない場合、自動的に保存され変速比設定モードを終了します)。

注意

速度計の速度表示が実際の速度よりも高い場合は、実際の速度に合うまで伝達比を下げてください。速度計の速度表示が実際の速度よりも低い場合は、伝達比を上げてください。

警告

変速比の変更は慎重に行ってください。
(純正のオリジナル伝達比率は 1.0 です)。

時刻表示



時計設定:

モーターサイクルの電源をONにし、速度が0km/hの状態でもボタンを2秒以上長押しすると時計設定モードに入ります。「時」が点滅し調整可能になります。Mボタンを再度短押しすると「分」が点滅し調整可能になります。もう一度Mボタンを短押しすると**時計設定**モードを終了します。

「時間」が点滅して設定可能状態のときに、Sボタンを短く押すと1時間ずつ進みます。Sボタンを長押しすると

- フェッチ・リグ・ライト - @-

ボタンを押すと「時間」が徐々に増加し、Sボタンを離すまで続きます。

「時間」調整終了後、Mボタンを短押しすると現在の設定が保存され「分」設定に移行します。

「分」が点滅し設定可能状態になったら、Sボタンを短押しすると1分ずつ増加します。5ボタンを長押しすると「分」が徐々に増加し、Sボタンを離すと設定が確定します。「分」調整完了後、Mボタンを短押しすると現在の設定を保存し、時計設定モードを終了します。

5.3

ASR（トラクションコントロールシステム）インジケーター

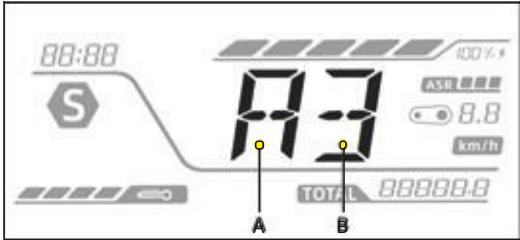
ASRボタンを使用して

ASRをON/OFF切替または設定レベル選択を行うと、ASRレベルは以下のように表示されます：

説明と操作については、6.2ページの「機能紹介」を参照してください。

ASR表示説明	
	表示なし（ASRオフ状態）
	表示（ASRレベル1作動）
	表示（ASRレベル2で有効）
	表示（ASRレベル3有効）

システム機能モード表示



注：フィールドAには英字1文字を表示（機能モードにより異なる英字が表示されます）。フィールドBには数字1桁を表示（機能モードにより異なる数字が表示されます）。

システム機能モード設定：

オートバイが通常運転モード時またはサイドスタンドが下がっている状態で、左コンビネーションスイッチのASRボタンと右コンビネーションスイッチのレディボタンを同時に2秒以上押し続けると、システム機能設定モードに入ります。

システム機能設定モード切り替え後：

左のコンビネーションスイッチのASRボタンを短く押すと、B2、E3、POなどの各機能間で切り替えられます。例えば、ダッシュボードに機能B2が表示されている場合、右のコンビネーションスイッチのレディボタンを短く押します。

長期間操作がない場合、システムは自動的に終了します。

利用可能な機能は以下の通りです：

- ブレーキエネルギー回生機能のレベル設定（BO B1 B2 B3 B4 B5）工場出荷時デフォルトはB2（BOでは機能無効、B1からB5にかけて段階的に強化）。
- 惰行エネルギー回生機能のレベル設定（EO E1 E2 E3 E4 E5）工場出荷時デフォルトはE3（EOでは機能無効、E1からE5へ順に強化）。
- ASR機能のレベル設定（At A2 A3）工場出荷時デフォルトはA2（A1から順に機能が強化される）。
- ブレーキオーバーライド機能の設定（PO P1）工場出荷時設定はPO（POでは機能が無効、COでは有効）。
- チルト保護機能の設定（CO C1）工場出荷時設定はC1（COでは機能無効、C1で有効）。
- 診断レポート機能（To T1）工場出荷時のデフォルトはTo（Toでは機能は無効、T1では有効）。
- スロットル感度（F1 F2 F3）工場出荷時設定 F1（F1～F3の順に感度が増加、スポーツモードでのみ利用可能）。

8. 充電電力調整機能（U1/U2/U3）工場出荷時設定はU3（U1は充電電力が480W、U2は750W、最大充電電力U3はJ 1100W）。

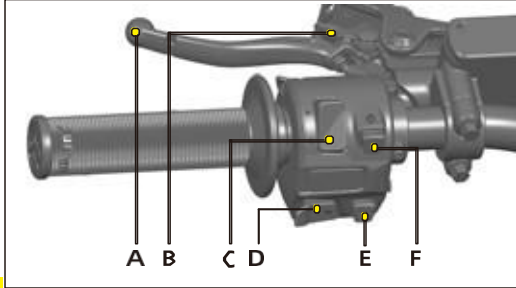
9. クロールモード設定（L1 L2 L3）工場出荷時設定はL2（L1からL3へ、最高速度が段階的に増加します）。

警告

オフロード環境では、ジャンプやスタント時に傾斜保護機能が作動してパワーが失われるのを防ぐため、転倒保護センサー機能をオフにすることを推奨致しております。

バッテリーパックの寿命と安全性を確保するため、バッテリーの充電状態（SOC）が95%を超えた場合、またはバッテリー内部の温度が0°Cから50°Cの動作条件温度を超えた場合、エネルギー回生システムは無効になります。

リバーモード



6.1

A. リアブレーキレバー

ブレーキレバーを引く（または握る）と、後輪ブレーキが作動します。

制動時は、スロットルを必ずアイドル（戻し）位置にしてください。

また、ブレーキ作動中はブレーキランプが点灯します。

B. パーキングブレーキ

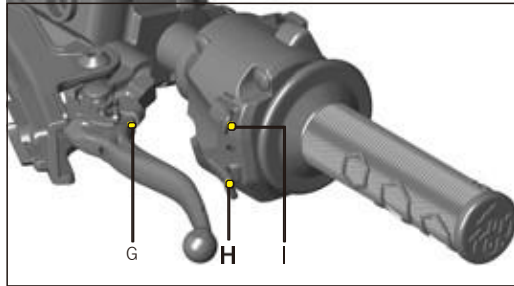
急な坂道やスロープに駐車する際は、車両が後退するのを防ぐため、パーキングブレーキを使用してください。

操作方法および使用手順については、「機能紹介」6.4章を参照してください。

C. ヘッドライト ハイ／ロービーム切替スイッチ

スイッチを押すと、ヘッドライトはロービームからハイビームに切り替わります。切り替え後は、再度操作するまで選択された状態を維持します。

ハイビーム点灯時は、メーター内のハイビームインジケータが点灯します。



D. ホーンボタン

キーがON位置にある状態でボタンを押すと、ホーンが作動します。

Ultra Bee は走行時の動作音が非常に静かなため、歩行者、自転車利用者、ドライバーなど周囲の人に注意を促す際に、ホーンを使用してください。

E. R／Tボタン（リバーモード／ターボモード設定）

リバーモード

READY インジケータが点灯し、スロットルが完全に閉じられており、車両が完全停止（速度0）の状態、R／Tボタンを押し続けてください。

メーターにリバーインジケータ「R」が点灯し、車両はリバーモードに入ります。

ボタンを離し、スロットルが完全に閉じられるまで、リバーモードは継続されます。

リバーモードの入/切時に、注意喚起のため車両がわずかに振動します。

ターボモード：スポーツモード時にダッシュボードのターボモードインジケータが点灯している状態で、R/Tボタンを素早く2回押すとターボモードが作動します。

警告

ターボモードの作動時間は約10秒間です。作動タイミングはスロットル開度が全開範囲の1/3を超えた時点から計測されます。連続して2回まで使用可能です。2回連続使用後は60秒間の冷却期間に入り、ターボモードインジケータは消灯します。

F. ヘッドライトスイッチ

ボタンを1回押すとヘッドライトが点灯し、2回押すと消灯します。

G. ブレーキレバーアジャスター

ブレーキレバー位置を調整するための調整ナットです。

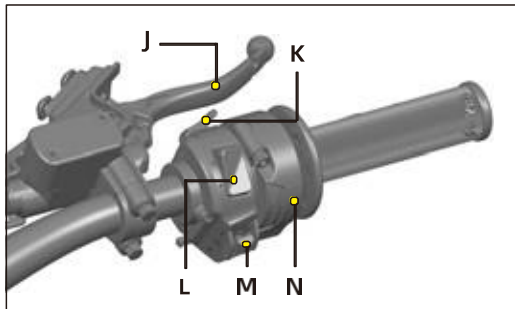
2.5mm 六角レンチおよび 8mm スパナを使用して、ライダーの操作習慣に合わせてブレーキレバーの位置を調整してください。

-FETCH LIGHT-飞起来-

H. 追い越しボタン

本スイッチはセルフリターン式（自動復帰）ボタンです。

6.2



J. フロントブレーキレバー

ブレーキレバーを引く、または握ることで、前輪ブレーキが作動します。

制動時は、スロットルを必ずアイドル（戻し）位置にしてください。

また、ブレーキ作動中はブレーキランプが点灯します。

K. READYボタン

車両の電源が入っており、サイドスタンドが収納されている状態で、

READYボタンを押すと走行可能状態になります。

READYボタンは、クローラモードを有効にするためにも使用されます。

クローラモードの操作および使用方法については、「パワーモード」6.4章を参照してください。

L. モーターストップスイッチ

スイッチ上側の「A」を押すと、パワートレインへの電源供給が遮断されま

す。スイッチ下側の「B」を押すまで、MCUは出力なしの状態を維持しま

す。本スイッチは、すべての操作機能を停止するものではなく、パワート

レインへの電源のみを遮断します。



M. ライディングモードスイッチ

ライディングモードスイッチは、SPORT、ECO、DAILYの各走行モードを切り替えます。

操作方法および詳細については、「機能紹介」6.4章を参照してください。

N. スロットル操作

車両がREADY状態のとき、スロットルを反時計回りに回すと、モーターが作動し、車両は前進します。

スロットルを離すと自動的にアイドル位置に戻り、モーターは停止し、車両は減速します。

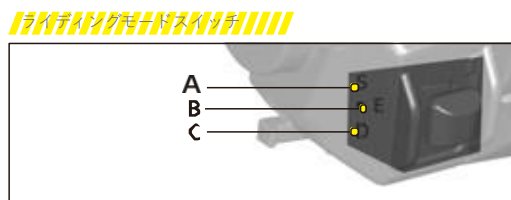
スロットル感度は、システム機能モードにて調整可能です。詳細は5.3章を参照してください。

ライディングモードスイッチ（Riding Mode Switch）

ライディングモードには、SPORTモード（S）、DAILYモード（D）、ECOモード（E）があります。

走行中にモード切り替えが可能で、選択中のモードはメーターに専用アイコンで表示されます。

また、特定の走行シーン向けにクローラモードが搭載されており、3段階で調整可能です。



A. SPORTモード（S）

スイッチを上側にスライドすると、SPORTモードに入ります。

本モードは、最も高い出力と加速性能を発揮します。

トレイル走行やオフロード走行での使用を強く推奨します。

Ultra Bee に十分慣れてから使用することを推奨します。

B. ECOモード（E）

スイッチを中央に押すと、ECOモードに入ります。

本モードでは、出力および加速性能が大幅に抑えられ、操作性が向上し、航続距離を最大化します。

C. DAILYモード（D）

スイッチを下側にスライドすると、DAILYモードに入ります。

本モードでは、出力が抑えられ、加速も穏やかになるため、日常走行に適しています。

クローラモード（Lモード）

本モードは、高トルクを維持したまま最高速度を大幅に制限し、滑りやすい坂道、林道などでの走行に適しています。

最高速度は3段階（L1、L2、L3）から選択できます。

有効／無効切替

車速が0km/hの状態、READYボタンを長押しすると、クローラモードの有効／無効を切り替えます。

レベル変更

車速が0km/hの状態、READYボタンを素早く2回押しと、レベル切替、またはシステム機能設定を変更できます。

現在レベル表示

クローラモード中にREADYボタンを短押しすると、現在の設定レベルが表示されます。

クローラモードに入ると、ASR（トラクションコントロール機能）は自動的にOFFになります。

車速が2km/h未満のとき、スピードメーターにクローラモードの現在レベルが表示されます。

クローラモードを解除するまで、S/D/Eの走行モードアイコンは表示されません。

6.5 パーキングブレーキ

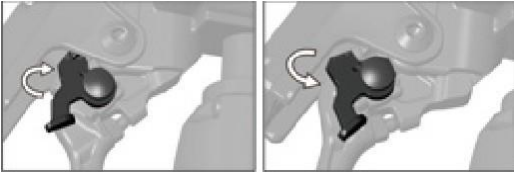


安全のため、パーキングブレーキがロックされているときは、ダッシュボードの速度計エリアに「H」が表示されます。

ブレーキを解除せずに走行しようとすると、文字「H」が点滅します。ブレーキを完全に解除すると消えます。

6.6 パーキングブレーキ操作

ウルトラビーにはパーキングブレーキが装備されています。作動すると、電動バイクの前進・後退を防止します。パーキングブレーキの強度は3段階あり、状況に応じて選択してください。

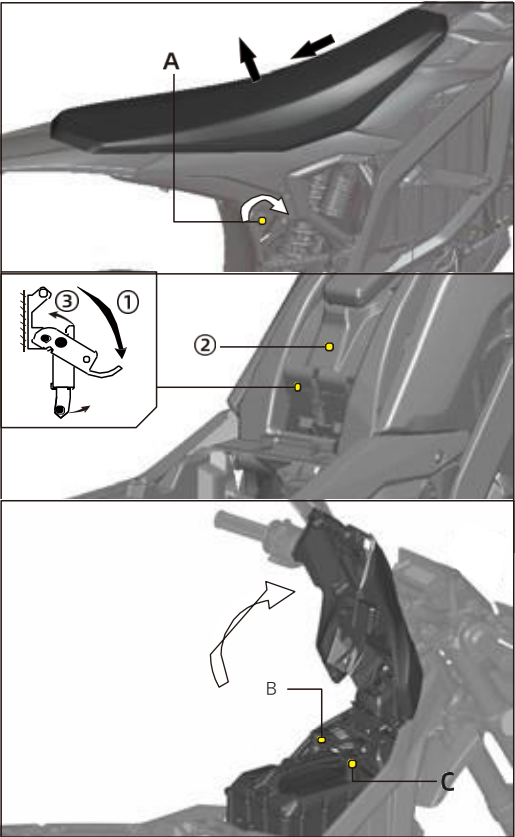


A. パーキングブレーキ作動中

リアブレーキレバーを握り、パーキングブレーキレバーを押すと、ブレーキギアがパーキングブレーキリミッティングスロットに入り、リアブレーキが解除されます。

B. 駐車ブレーキ解除

後輪ブレーキレバーを握ると、パーキングブレーキレバーが自動的にパーキングブレーキリミットスロットから飛び出します。

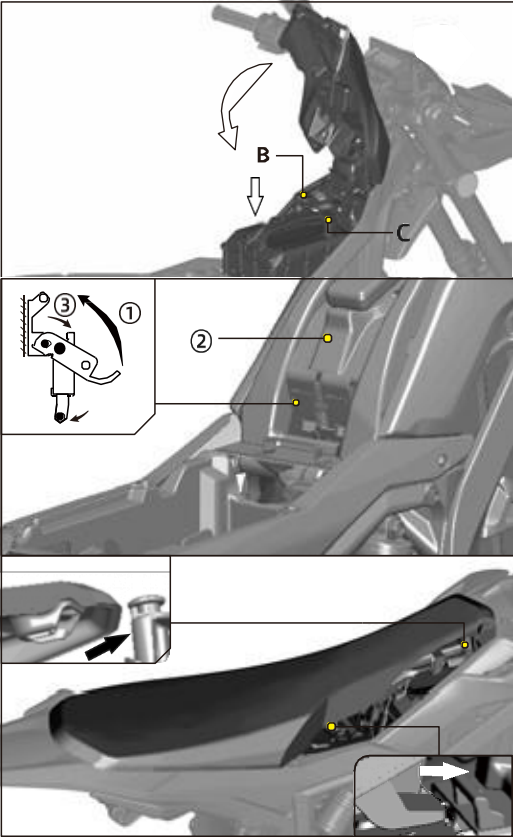


6.6 バッテリーパックの取り外し

1. キーをシートロックスイッチAに挿入し、矢印の方向に従ってキーを回してシートロックを解除します。
2. シートが跳ね上がった後、シート後端を少し持ち上げ、矢印の方向に従ってシートを後方に引き抜いて取り外します。
3. バッテリーコンパートメントカバーを押して 押しながら、2つの電池ケースカバー固定レバーをそれぞれ下方向に押し下げ、2つのレバーのラッチを それぞれ前方へフリックしてラッチをフックから外し、図に従って電池コンパートメントケースカバーを開けます。
4. 青い通信プラグC、次にオレンジ色の電源プラグBを取り外します。コネクタを損傷しないよう、プラグは慎重に、垂直に抜いてください。
5. バッテリーパックを持ち上げて取り外し、安全な場所に保管してください。

----- 警告 -----

通信プラグと電源プラグの取り付け手順を勝手に変更しないでください。通信プラグが接続された状態で電源プラグを接続または取り外さないよう注意してください。バッテリーパックは高電圧部品であるため、誤った取り付け手順は深刻な損傷や人身事故を引き起こす可能性があります。



バッテリーの取り付け

1. バッテリーコンパートメントカバーを開け、バッテリーパックをバッテリーコンパートメントに設置します。
2. オレンジ色の電源プラグBを先に接続し、次に青色の通信プラグCを接続してください。損傷を防ぐため、プラグは慎重に垂直に挿入してください。
3. 図示の矢印に従って電池カバーを閉じ、電池カバー@を押し下げた後、2つのクランプ@のラッチをそれぞれ後方へ弾いてフックを所定位置に嵌め込み、2つのトグル@を上方へ押し上げて電池カバーをロックします。
4. シート前部の位置決めスロットをウルトラビー車体のフロント位置決めブラッシュに押し込み、シート中央のフックをサブフレームの位置決めブラケットに合わせます。その後、図示の矢印方向へシートを前方に押し込み、位置決めスロットとフックを所定位置に固定します。シート後端を押し下げてロックします。

警告

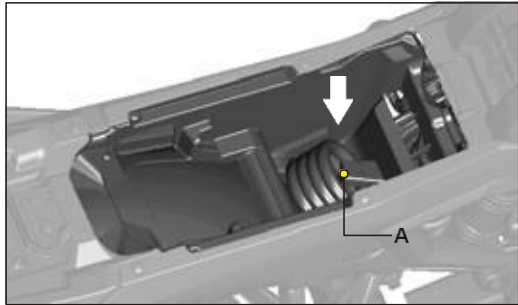
ウルトラビーモーターサイクルのバッテリーパックを取り外す前または取り付ける前には、キースイッチをOFF位置に設定し、モーターサイクル全体の電源がオフの状態であることを確認してください。

ウルトラビーバッテリーを取り付ける際は、必ずオレンジ色の高電圧ケーブルを最初に接続し、その後青色の通信ケーブルを接続してください。

FETCH LIGHT

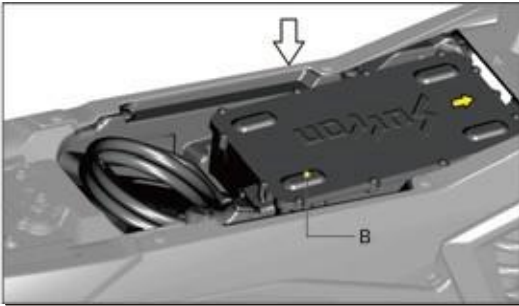
まず青色の通信ケーブルを外し、次にオレンジ色の高電圧コネクターを外してください。この手順に従わない場合、高電圧が原因でオートバイの損傷や人身事故が発生する恐れがあります。

充電器の保管場所



- ウルトラビーのライダーに快適な体験を提供するため、ウルトラビーには収納スペースが設計されており、充電器やその他の物品を収納できます。
1. シートを取り外します。詳細な手順については「バッテリーパックの取り外し」を参照してください。
 2. 充電器から入力ケーブルAを取り外し、収納コンパートメントに収納してください。

3. 充電器Bを収納コンパートメントに逆さにして設置してください（図示の通り、充電器の方向は矢印とラベルで示されています）。充電器の出力ケーブルは収納コンパートメント後部に収納します。充電器を収納コンパートメント内に固定するための位置決め構造が設けられています。
4. 最後に、シートをオートバイに再取り付けし、



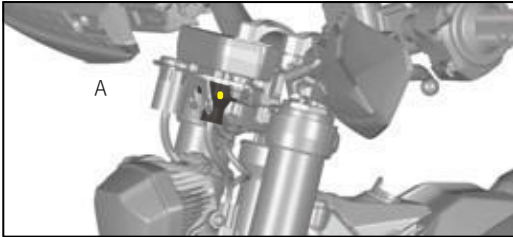
シート底面の緩衝フォームが充電器に完全に固定されていることを確認してください。シートの説明および取り付け方法については、「バッテリーパックの取り付け」を参照してください。

警告

シートバックを取り付ける際は、ケーブルや充電器の損傷を防ぐため、充電器とケーブルが所定の位置に確実に収納されていることを確認してください。

- FETCH LIGHT -

時計電池



時計を正確に作動させるため、ダストカバー内部にCR2032電池が内蔵されています。設定時刻がずれたり、時刻設定後に精度が低下した場合は電池交換が必要です。



起動と操作

走行前確認

Ultra Beeを操作する前に、Ultra Beeが稼働状態にあることを確認するため、以下の項目を確認してください：

バッテリーパック

バッテリーパックまたはダッシュボードに表示されるバッテリー残量が、走行を十分にサポートできることを確認してください。次の走行前にはフル充電することをお勧めします。

チェーン

チェーンの張り と状態を確認してください。必要に応じて調整または交換してください。詳細は10.9ページの「チェーン」を参照してください。

ブレーキシステム

ブレーキレバーを握り、バイクを押して前輪と後輪が完全にロックされるか確認してください。ブレーキ操作で車輪を完全にロックできる必要があります。

スロットル

キースイッチがオフの位置にある状態で、スロットルをひねって離し、スロットルがスムーズに動き、アイドリング位置に自由に戻るかどうかを確認してください。

タイヤ

タイヤの空気圧と溝の深さを確認してください。

冷間時のタイヤ空気圧を確認し、適正な空気圧に調整してください。また、タイヤ表面の損傷や異常な摩耗がないか点検してください。10.3ページに記載の通り、トレッド深さがタイヤの警告マークに達した場合は、バイクを運転せず、直ちにタイヤを交換してください。

-----警告-----

異常なタイヤ空気圧はタイヤ故障の一般的な原因であり、深刻なタイヤトラブルや電動バイクの制御不能を引き起こす可能性があり、重大な人身事故につながる恐れがあります。タイヤを定期的に点検し、良好かつ安全な状態を保ってください。

電気系統

ヘッドライトが正常に作動するか確認してください。

キースイッチ



これはダッシュボード右側に位置するポジションスイッチです。機能は以下の通りです：

- OFF A
- ON B
- OFF 位置

この位置はウルトラビーの電源をオフにし、それによって全ての電気システムを停止させるためのものです。キーもこの位置から取り外すことができます。

ONポジション

この位置はウルトラビーの電源を入れるためのものです。この位置に切り替えると以下の変化が生じます：

ダッシュボード点灯。ヘッドライト点灯。

起動と操作

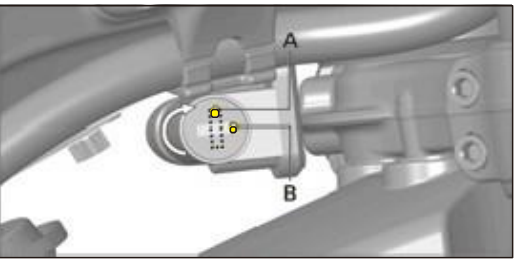
テールライト点灯（Xバージョンでは非対応）キースイッチの操作

方法：

1. キーをキースイッチに挿入し、時計回りに回してキーをOFF位置からON位置に切り替えた後、ウルトラビーを始動します。
2. ウルトラビーを停止状態にする際は、キーを反時計回りに回してON位置からOFF位置に切り替えると、ウルトラビーの電源が切れます。

キースイッチを切った後は直ちにキーを取り外し、車両盗難防止のため安全な場所に駐車してください。

ポジションランプ



これは下部トリブルクランプ裏側に設置された2ポジションスイッチです。機能説明は以下の通りです：

ロックA

アンロックB

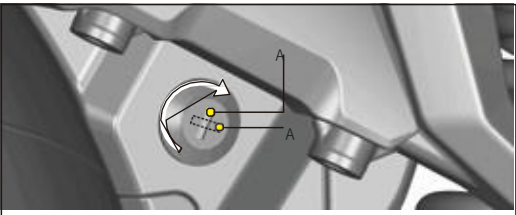
1. ハンドルを左に限界まで回してください。

2. キーをステアリングロックに挿入し、時計回りに回してウルトラビー電動バイクをロックします。

3. キーを抜く。ステアリングロックの解除方法：

1. キーをステアリングロックに挿入し、反時計回りに回してウルトラビー電動バイクのロックを解除します。
2. キーを抜いてください。

駐車後は不正使用や盗難防止のため、必ずステアリングロックをロックしてください。



これは、リアショックアブソーバーの背面に設置された2ポジションの自動復帰スイッチです。

リアショックアブソーバーの背面に設置されています。機能説明は以下の通りです：

ロックA

アンロックB

シートロックの操作方法：

1. ロック位置にある場合、キーをシートロックに挿入し、時計回りに回してキーをロック位置からアンロック位置に切り替えます。キーがアンロック位置にあるとき、シートを取り外すことができます。

2. キーを離すと、キーは自動的に解錠位置から施錠位置に戻り、施錠位置でキーを抜くことができます。

始動と操作

始動

1. キースイッチをOFF位置からON位置に回します。
2. ダッシュボードのバッテリー残量表示を確認してください。
3. エンジン停止スイッチを始動位置に押します。
4. 前後輪ブレーキレバーを軽く握り、パーキングブレーキが解除されていることを確認してください。
5. 周囲に障害物や通行車両がないことを確認した後、サイドスタンドを上げ、READYボタンを押してREADYモードに入ります

車両がないことを確認した後、サイドスタンドを上げ、READYボタンを押してREADYモードに入ります。ダッシュボードの緑色のREADYインジケーターが点灯したら、スロットルを内側（反時計回り）に回して速度を上げ、走行を開始します。

ブレーキ操作

ブレーキレバーは左右のハンドルバーに配置されています。

右のブレーキレバーを引くと、フロントブレーキが作動します。

左のブレーキレバーを引くと、リアブレーキが作動します。

警告

ブレーキを段階的に使用し、ブレーキレバーへの力を制御することで、車輪をロックさせることなく電動バイクを徐々に停止させることができます。電動バイクは強力な乗り物ですので、十分な練習を行い、安全な緊急停止操作に慣れることを強くお勧めします。

駐車

- 1.スロットルが閉じている状態で、モーターストップスイッチを閉じます。
2. 車両が転倒する恐れがある場合は、サイドスタンドを下ろしてください。
- 3.キースイッチをOFFの位置に回し、キーを取り外して安全な場所に保管してください。
4. 傾斜によるバイクの移動を防ぐため、パーキングブレーキをロックしてください（平坦な場所でも急な坂道でもパーキングブレーキの使用をお勧めします。これは良い駐車習慣であり、バイクを安全に保ちます。）

注意

走行後は毎回、残量を確認し、バッテリーパックを適時に充電してください。

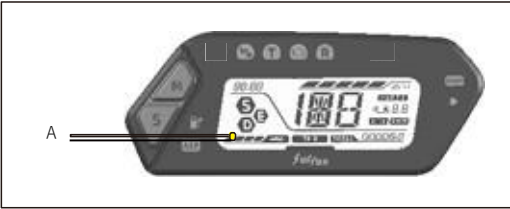
起動と操作

温度インジケータ

電動バイクの動力システムは作動中に熱を発生します。ウルトラビーが継続的に作動できるよう、動力システムの各構成部品の温度を自己監視し、ダッシュボードに表示します。これにより、包括的な多重熱管理戦略を通じて動力システムの作動を保証します。

ダッシュボードAの温度インジケータは、動力システム（バッテリーバック、モーター、MCU）の温度を示します。

電力システムの温度が温度制限を超えた場合、温度インジケータA全体が点滅を開始します。



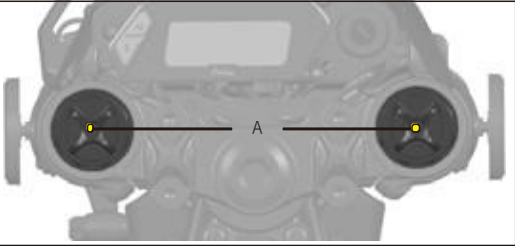
リバウンドダンピング調整

リバウンド減衰

左右のフロントフォーク下部にあるノブAを回してリバウンドダンピングを調整します。「+」記号はリバウンドダンピングを増加させ、「-」記号はリバウンドダンピングを減少させます。

リバウンド調整ノブAを「+」方向に時計回りに回すと、リバウンド減衰が増加し、フォークのリバウンド速度が低下します。

リバウンド調整ノブAを「-」方向（反時計回り）に回すと、リバウンド減衰が弱まり、フォークの戻り速度が速くなります。



----- 注記 -----

フロントフォークの外観はブランドによって異なる場合があります。実際の製品をご確認ください。

起動と操作

リバウンドダンピングと圧縮ダンピングを調整する際は、左右のフォークレグの設定を対称に保ってください。

減衰力とスプリングプリロードは、路面状況やライダーの体重に応じて調整してください。減衰力を常に最大値に設定することは避けてください。そうしないと、フロントフォークが故障したり、致命傷や重傷につながる恐れがあります。

圧縮減衰調整

圧縮減衰

圧縮調整ノブAは、リアショックアブソーバーの右上部にあります。調整ノブには、圧縮減衰力を増加させることを示す「+」と、圧縮減衰力を減少させることを示す「-」が印刷されています。

圧縮減衰力を増加させるには、調整ノブAを「+」方向に時計回りに回します。

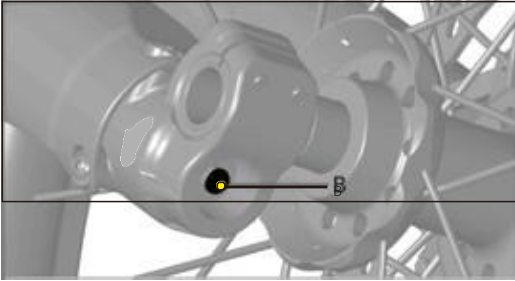
圧縮減衰力を弱めるには、調整ノブAを「-」方向（反時計回り）に回します。

圧縮減衰

マイナスドライバーを使用して、左右のフロントフォークフット下部にあるネジBを回して圧縮減衰力を調整します。「+」記号は圧縮減衰力を増加させることを意味し、「-」記号は圧縮減衰力を減少させることを意味します。

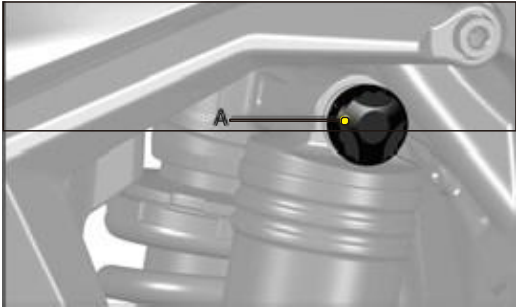
調整ネジBを「+」方向（時計回り）に回すと、圧縮減衰力が増加します。

圧縮減衰力を減らすには、調整ネジBを反時計回りに回します。



----- 注記 -----

フロントフォークの外観はブランドによって異なる場合がありますので、実際の製品をご確認ください。



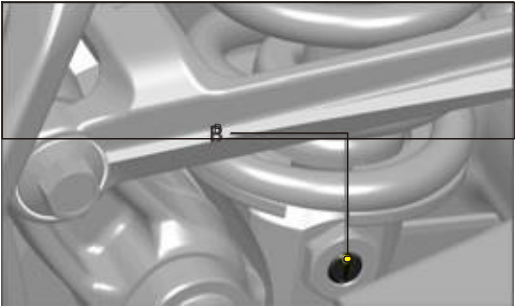
警告

リアショックアブソーバーの外観はブランドによって異なる場合がありますので、実際の製品をご参照ください。

リバウンド調整

リバウンド調整ネジBはリアショックアブソーバーの右下側に位置し、ドライバーを使用してリバウンドを調整します。調整ネジに印刷された「+」はリバウンド減衰力の増加を、「-」はリバウンド減衰力の減少を示します。調整ネジBを「+」方向（時計回り）に回すと、リバウンド減衰力が増加しショックの反発速度が低下します。

調整ネジBを「-」方向に反時計回りに回すと、リバウンド減衰が減少して、ショックのリバウンド速度が増加します。



注意

フロントフォークの外観はブランドによって異なる場合がありますので、実際の製品をご参照ください。

リアショックプリロード調整

1. 調整レンチを使用してスプリングロックリングAを緩めます。
2. 調整リングBを回すには調整レンチを使用してください。リングBを回します。
3. 調整リングBを反時計回りに回転させて

スプリングのプリロードを減らすには、調整リングBを反時計回りに回転させます。スプリングのプリロードを増やすには、調整リングBを時計回りに回転させます。

4. 調整レンチを使用してスプリングを締め付け、固定する

ロックリングAを締め付ける



注記

減衰力とスプリングプリロードは、路面状況やライダーの体重に応じて適切に調整してください。減衰力を常に最大値に設定することは避けてください。そうしないと、ショックアブソーバーが故障したり、致命傷や重傷につながる恐れがあります。



Ultra Bee は、高性能かつ高容量のリチウムイオンバッテリーを採用しています。
使用可能な周囲温度範囲は -20℃～45℃ で、最適な使用温度範囲は 10℃～30℃
です。

極端に低温または高温の環境では、バッテリーパックの性能および寿命に影響を
及ぼします。

許容範囲を超える温度条件ではバッテリーパックを使用しないでください。また、
0℃未満では充電を行わないでください。

通常の周囲温度におけるバッテリーの充電時間は、約 45 時間です。

周囲温度が低すぎる場合、バッテリーパックの性能は低下します。

この場合、航続距離が一時的に短くなることがありますが、周囲温度が通常の使
用温度に戻ると、バッテリー性能は自動的に回復します。

-----警告-----

バッテリー残量 (SoC) が 30% 未満の状態 で、7 日間以上使用しない場合、
バッテリーパックは低電力スリープ状態に入り、出力を停止します。
この状態では、T-BOX がインターネットに接続できない場合があります。
再び通常使用するには、バッテリーパックを充電器に接続して充電し、バッ
テリーを有効化してください。

警告

長期間使用しない場合は、バッテリー残量を 60～80% (SoC) に保つ
た状態で保管し、毎月残量を確認してください。
SOC が 30% 未満になった場合は、再度充電して 60～80% に戻して
ください。
低い SOC 状態での長期保管は、性能低下や恒久的な損傷の原因とな
ります。

バッテリーパックを高圧洗浄機やエアコンプレッサーで洗浄することは禁止されて
います。

特にコネクタやケーブル部分に水や空気を直接吹き付けしないでください。

また、バッテリーパックを完全に水中に沈めないでください。

冠水している場所を走行する場合、水位はホイール中心の高さを超えないようにし
てください。

これを超えると、バッテリーパック内部への浸水、内部短絡、バッテリーパックの
恒久的故障を引き起こすおそれがあります。

バッテリーパックに浸水やその他の異常が発生した場合、再充電することは禁止さ
れています。

警告

火災、爆発の危険があり、死亡または重傷につながる可能性があります。
バッテリーパックは防水構造となっており、高電圧回路を内部に備えています。
外装が損傷した場合、防水性能が低下します。
防水構造に損傷がある場合は、必ず正規 Surron 販売店またはサービス部門に連絡
してください。
リチウムイオンバッテリーパックを分解・開封することは厳禁です。
感電、重大事故、恒久的損傷の原因となります。

警告

火災高電圧部品の作業には、感電の危険があります。
本車両の高電圧システムには、ユーザーが修理できる部品はありません。
高電圧部品の作業には、資格、専門的な訓練および専用工具が必要であ
り、国や地域によっては法律で規制されています。

警告

バッテリーパックには、環境に有害な成分が含まれています。
適用される法令および規制に従い、適切に処分してください。
家庭ごみとして廃棄しないでください。

低温環境での使用 (Cold Weather Condition)

低温環境で Ultra Bee 電動モーターサイクルを使用しても、バッテリーパック
に恒久的な影響はありません。

ただし、低温ではバッテリーが放出できるエネルギー量が低下するため、航続
距離や出力が低下することがあります。

そのため、0℃未満の環境では、25℃環境と比べて航続距離が最大約 30% 低下
する場合があります。

極端に低温な環境では、一時的に出力が低下し、最高速度に到達できない場合
があります。

-20℃未満での保管は、バッテリーパックの性能を恒久的に低下させる可能性
があります。

「長期保管 (10.14 章)」に記載された条件を守ることで、冬期保管中のバッテ
リー損傷を防ぐことができます。

高温環境での使用 (Hot Weather Condition)

高温環境で Ultra Bee 電動モーターサイクルを使用しても、通常は目立った性
能変化は発生しません。

ただし、バッテリーパック温度が 55℃以上 (バッテリー温度センサー基準) に
なると、

バッテリー管理システムが作動し、バッテリーパック出力を停止して、損傷を
防止します。

バッテリーパックの温度が30° Cを超える場合、充電器はバッテリーパックを保護するため充電電流を低減し、これにより充電時間が延長されます。バッテリーパックの温度が33° Cを超えると、バッテリー管理システムは充電を許可しなくなります。

警告

Ultra Bee またはそのバッテリーパックを、周囲温度が 4°Cを1超える直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。バッテリー性能の劣化を早める恐れがあります。

8.3

電源供給と充電



充電前に、充電器の入力電圧範囲が系統電圧（AC 85～250V / 200～240V）に対応しているか確認してください。

バッテリーを充電する前に、バッテリーが平らで安定した場所に置かれていること、および充電器が十分に換気されていることを確認してください。

充電前に、AC電源ネットワークの負荷電力がバッテリー充電器の電力要件を満たしているか必ず確認してください。

充電時は、まずバッテリーパックのプラグを接続し、その後AC電源プラグを接続してください。

高温（36° C以上）の環境で長時間走行した場合、または走行の大半を高速で走行した場合、バッテリーパックは「高温」状態では充電されないため、走行直後の充電は避けてください。充電前にバッテリーパックを数時間冷却させることで、寿命を延ばすことができます。

充電器は、バイク左側のバッテリー充電ポートAに直接差し込むことができます。

充電器はバッテリーパックが完全に充電されると自動的に電源が切れます。充電器の電源プラグをコンセントから抜き、充電プラグをバッテリーパックから外してください。

充電に関する注意事項

充電時は、オートバイを安全な場所に置き、子供の手の届かない場所に保管してください。

充電直後のバッテリーパックの使用は避けてください。充電完了後、少なくとも10分間はバイクまたはバッテリーパックを風通しの良い環境に置き、冷却させることを強く推奨します。充電中は充電器の上に物を載せることは禁止されています。この充電器は屋内専用です。乾燥した風通しの良い環境でご使用ください。充電後は必ず充電ソケット保護キャップを装着してください。

警告

バッテリーパックの充電は常に換気の良い環境で行い、火災の危険がある場所から離してください。雨天時、湿気の多い環境、直射日光下、その他の極端な気象条件下での充電は避けてください。

バッテリーパックは、純正充電器（製造元が供給するもの）またはSurrónが認定した指定充電器でのみ充電可能です。非認定充電器やアクセサリの使用は、バッテリーパックの損傷や故障を引き起こす可能性があります。

性があり、最悪の場合、致命的な事故や重傷を負う恐れがあります。

8.4

バッテリーパックは0℃以下で充電しないでください。さもないとバッテリーパックが損傷します。バッテリーパックの温度が0℃以上に回復してからでないと充電できません。° バッテリーパック内部の最大充電温度は55℃です。バッテリーパックの内部温度がこの温度を超えた場合、冷却されて55℃以下（° ℃）に戻ってからでなければ充電を許可できません。過酷な走行による急速放電の場合、周囲温度が55℃未満であってもバッテリーパックの内部温度が55℃を超える可能性があります。バッテリーパックは自然冷却による常温復帰のみを許可します。他の方法でバッテリーパックの温度を上昇または下降させることは禁止します。

バッテリーパックは、高出力時や高温動作直後は充電できない場合があります。充電前に30分以上冷却させてください。バッテリー管理戦略により、内部温度が温度制限を超えた場合の充電は許可されません。充電するとバッテリーパックが損傷し、寿命が短くなる恐れがあります。

―― 「重大な警告！」 ――

以下の状況を確認した場合は、直ちに充電を中止し、電源を切断し、電動バイクを使用しないでください。Surrön正規販売店に連絡し、点検とサービスを受けてくださいしてください。

バッテリーパックに重大な機械的損傷がある、またはバッテリーパックのケースに損傷が認められる場合。

充電中に異臭が発生した場合。

バッテリーパックまたは充電器の温度が高すぎます。

充電が長時間完了しません。

バッテリーパックが損傷していない場合、このオートバイに特に火災の危険はありませんが、オートバイまたはバッテリーパックが発火した場合は、さらなる損傷を防ぐためバッテリーパックを水に投げ入れ、地元の消防署に連絡し発火原因を説明してください。

/// 警告 ///

Ultra Bee 電動バイクのパワーシステムには、MCU とモーターが含まれます。

----- 警告 -----

お客様は、Surrönの許可なくモーターを分解することはできません。

分解は、位置センサーの誤動作や対応するシールの損傷を引き起こし、モーターの故障につながる可能性があります。

MCUは精密な高電圧・大電流電子部品です。誤った配線接続やネジのトルク不足は、MCUや電源システムの損傷を引き起こす可能性があります。

電源システムの部品、ケーブル、コネクターの分解、取り外し、交換は、重度の火傷や感電を引き起こし、重傷や死亡につながる可能性があります。

ウルトラビーの電源システムは、サーロンが認定した訓練を受けた専門技術者による修理または交換が必要です。お客様によるUltra Beeの電源システムの分解や改造は禁止されています。電源システムを水に浸すことは禁止されています。

深刻な損傷を引き起こす可能性があります。

電源ケーブルは作動中に高電流が流れるため、ケーブルが正しく確実に接続されていることを確認し、ケーブル固定ボルトのトルクと締め付けが推奨トルク要件を満たし、ケーブル絶縁も要件を満たしていることを確認してください。電源システムの部品、ケーブル、またはコネクタの分解、取り外し、または交換は、重度の火傷や感電を引き起こし、重傷や死亡につながる可能性があります。

本電源システムは74Vの高電圧システムであり、識別しやすいよう電源ケーブルはオレンジ色です。電動バイクの運転中、修理・メンテナンス、または清掃時には、電動バイクと電源ケーブルが確実に絶縁されていることを確認する必要があります。

電動バイク本体と電源ケーブルが完全に絶縁されていることを確認する必要があります。

適切な交換用液体は以下の表に記載されています。

部品	オイルタイプ	容量
ブレーキフルード	DOT4	

定期メンテナンス

ページ

10.2. 定期点検または整備を実施するたびに、本マニュアルの「整備スケジュール」にすべての情報を記録してください。

定期メンテナンス

Ultra Bee の安全かつ信頼性の高い性能を確保するため、定期的なメンテナンスが必要です。必要なメンテナンススケジュールは、電動バイクの点検頻度と点検項目を規定しています。十分な経験や工具をお持ちでない場合は、お近くの Surron 認定販売店にご連絡の上、バイクのメンテナンスを行ってください。電動バイクの不適切なメンテナンスや修理による損傷、故障、性能問題が発生した場合、保証は無効となります。

電動バイクの不適切なメンテナンスや修理による損傷、故障、性能問題が発生した場合、保証は無効となります。

本メンテナンススケジュールに記載のサービス間隔は、平均的な道路走行条件に基づいています。

特に湿気が多い地域や埃っぽい地域、トレイルやダートトラックでのオフロード走行では、一部の部品はより頻繁なメンテナンスが必要となります。

。個々のニーズや使用状況に応じた推奨事項については、最寄りの販売店にご相談ください。走行距離に関わらず、Ultra Bee 電動バイクは少なくとも6ヶ月に1回、最寄りの Surron 正規販売店にてメンテナンスを受けることを推奨します。

メンテナンススケジュール

バイクを最良の状態に保つには、下記「メンテナンススケジュール表」に示す定期点検・整備が必要です。初回整備は極めて重要であり、必ず実施してください。時間と走行距離の両方が記載されている場合は、先に到来する間隔に従ってください。

-----警告-----

1. バッテリーコンパートメントキャップのガスストッパーは、少なくとも5か月ごとに1回は使用してください。

2. ダートトラックやトレイル走行の前には、すべてのネジとボルトの締め付けトルクを確認することを推奨します。

ウルトラビー メンテナンススケジュール							
点検項目		100km	500km	2000km	5000km	10000kmごと /12か月	20000kmごと /24か月
タイヤ							
ブレーキパッド(WOM)					/	/	
ブレーキディスク					/	/	
チェーン		/	/	/	/	/	
スプロケット (前輪用/後輪用)					/	/	/
プライマリベルトとプライマリ駆動プーリー				/		/	
バッテリーパック電圧							
ダッシュボード警告コード							
フロントブレーキとリアショック					/	/	
ブレーキ						/	
ベアリング					/	/	
CGHB							
ホイールスポーク							
スイングアーム保護ブロック						/	/
チルトスイッチ							
ネジのトルク							

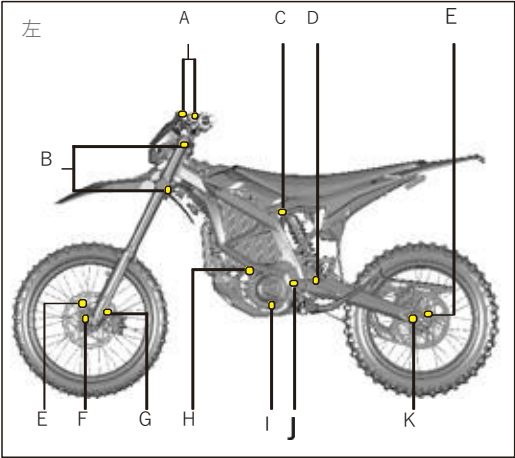
点検 交換 調整

トルク管理

1. ウルトラビーの以下の締結部品を定期的に点検し、指定トルクで締め付けてください。

注意：ステアリングチューブロックナット調整方法：1ノバイクをスタンドに乗せ、前輪を地面から浮かせる；

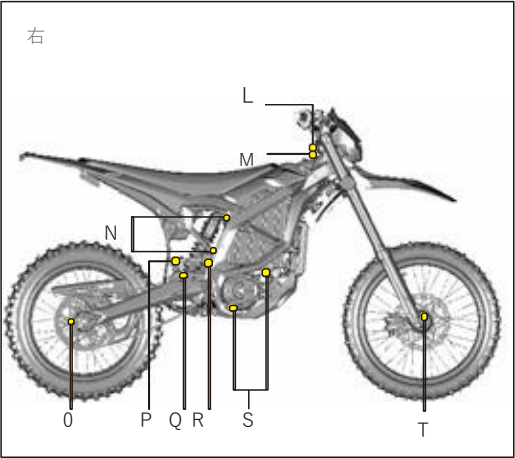
2. ステアリングチューブロックナットと上部トリブルクランプのフロントフォークロックボルトを緩める；



3. ステアリングチューブ調整ナットを20N・mで締め付け、その後1/4回転緩める

4. ステアリングチューブロックボルトと上部トリブルクランプのフロントフォーク取付ボルトを締め付け；

5. ハンドルがスムーズに回転するかどうかを確認し、必要に応じて上記の操作を繰り返してください。



ページ 10.3 トルク管理を参照してください。

	項目	トルク	仕様	指示
A	ハンドルバー取付ネジ	25N.m	六角穴付きボルト M8*25	／
B	フロントフォーク取付ボルト	13 N.m	六角穴付きボルト M6*25	／
C	リアショックアブソーバー取付軸上部	60N.m	T字ボルトM10*1.25-60	／
D	リアショックアブソーバー取り付け軸下部	60N.m	六角フランジボルト M10*1.25-50	／
E	ブレーキディスク取付ネジ	12N.m	トルクス皿頭ネジ M6*16	ネジロック剤が必要（KFUTER K-0609 or similar products)
F	フロントアクスル	60N.m	ステップシャフトアクスル内側ねじM16*1.5-170	／
G	フロントブレーキキャリパー取付ボルト	25 N.m	六角穴付き M8*35	／
H	モーター左前取り付けネジ	25N・m	六角穴付き M8*50	／
I	モーター後部左側取付ネジ	25N・m	六角穴付き M8×55	／
J	スイングアームピボット	60 N.m	六角穴付き M11*1-230	／
K	リアホイールアクスル	140N.m	六角穴付き M20*1.5-240	／
L	ステアリングチューブロックボルト	70N.m	Tシャフトボルト内ネジ M20*1*1 7.5	／
M	ステアリングチューブ調整ナット		Tシャフトボルト 雄ねじ M30*1*8	前の注意を参照
N	サブフレーム取付ネジ	25N.m	六角穴付き M8*20	ネジロック剤が必要 (例：KAFUTERK-0609 またはシミラール製品)
O	リアスプロケット取付ネジ	25N・m	六角穴付きボルト M8*16	
P	リンクロッド（車軸接続用）	60N.m	六角フランジボルト M10*1.25-67	／
Q	三角カンチレバー取付軸	60N.m	六角フランジボルト M10*1.25-75	／
R	リンクロッド取付ボルト	0 N.m	凹型キャップ六角穴付きボルト M10*1.25	／
S	モーター右取り付けネジ	25N.m	六角穴付き M8*35	／
T	フロントアクスルロックナット	15N・m	六角穴付き M6*25	／

10.5 バッテリーパックの充電

警告

- バッテリーパックはメンテナンス不要のリチウムイオンシステムですが、定期的に充電が必要です。長期間使用しない場合は、バッテリーパックを蓄電容量の約60%～80%まで充電してください。毎月残量を確認する必要があります。バッテリーパックの電力が30%を下回った場合、性能低下や損傷を防ぐため、60%～80%まで再充電してください。
- バッテリーパックは高温環境を避けて保管してください。高温環境や直射日光下での保管は避けてください。長期間使用しない場合は、周囲温度10° C～30° Cの環境で保管してください。
- バッテリーパックの廃棄は、地域の法令に従う必要があります。使用済みバッテリーパックは、専門の会社または組織による処理およびリサイクルを推奨し、無断で廃棄しないでください。

警告

バッテリーパックのサービスは、専門的に訓練を受けた技術者のみを提供できます。ご注意ください

バッテリーパック内部部品の無断操作は重大な損傷を引き起こす可能性があります。Surronの許可なく分解しないでください！

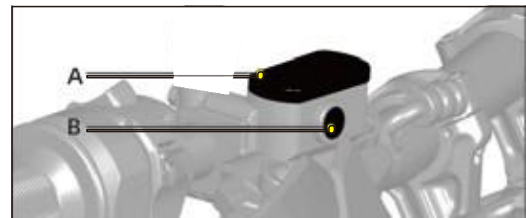
10.6 ブレーキフルード点検

本章では、ウルトラビーモーターサイクルのブレーキシステムのメンテナンス方法について紹介します。対象はブレーキパッド（フロント専用およびリア専用）ならびにフロント・リアブレーキシステムそれぞれに推奨されるブレーキフルードの容量と種類です。

ブレーキシステム HCU

HCUにブレーキフルードを充填するには、真空ポンプと充填機が必要です。ユーザーがHCUからエア抜きを行う必要がある場合、正規のSurronディーラーによる専門的なサービスを受けることを推奨します。

ブレーキフルード点検



ブレーキオイルカップ

オイルレベル点検窓Bからブレーキフルードのレベルを確認してください。液面がオイルミラーの1/3より著しく低い場合、ブレーキフルードを補充する必要があります。オイルカップを開ける前に、蓋Aのはこりや汚れをすべて拭き取り、ブレーキフルードの汚染を避けてください。

液面が低い場合は、ブレーキパッドの摩耗または油圧システムの漏れを示している可能性があります。ブレーキパッドの摩耗および/または油圧システムの漏れを確認してください。密封容器に入った新品のDOT4ブレーキフルードのみを使用してください。

ブレーキフルード補充の手順は以下の通りです：

- オイルカップの上部カバーにある2本のネジを緩め、オイルカップの上部カバーとオイルカップガasketを取り外します。
- 新しいDOT4ブレーキフルードを補充します。
- 蓋のシールを確認し、摩耗や損傷がなく、位置が正しいことを確認してください。
- オイルカップの上部カバーネジを取り付け（トルク2N.m）

警告

塗装面にブレーキフルードを飛散させないでください。塗装面を損傷する恐れがあります。

警告

プラスチック製品にブレーキフルードをこぼすと腐食の原因となります。カバーを外す前に、必ずメインシリンダーリザーバーの下に油吸収タオルを敷いてください。液面を確認する前に、ウルトラビー電動バイクは平坦な場所で直立状態にし、ハンドルを後ろに回してオイルカップが水平位置にあることを確認してください。新しいブレーキフルードを補充する際、ブレーキフルードが溢れた場合は、他の部品の汚染を防ぐため直ちに拭き取ってください。

ブレーキディスク点検

ブレーキパッドは、整備スケジュールに定められた間隔で点検する必要があります。詳細は10.2ページを参照してください。ブレーキキャリアの側面から、ブレーキパッドの残量を目視で確認してください。

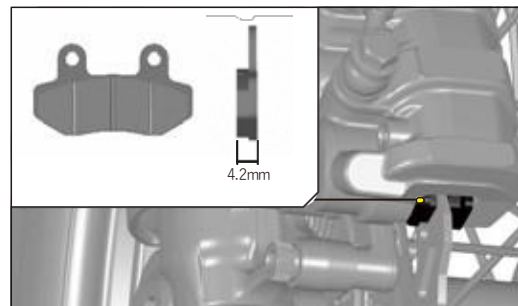
ブレーキパッドは、整備スケジュールに記載された指定間隔で点検する必要があります。詳細は10.2ページを参照してください。ブレーキパッドの残存厚さは、ブレーキキャリアの側面から目視で確認できます。

ブレーキパッドの厚さが3mm未満の場合は、ブレーキパッドを交換してください。摩耗や損傷によるブレーキパッドの交換時には、キャリア内の両方のパッドを必ず同時に交換してください。

メンテナンス

ブレーキパッドの交換

新しいブレーキパッドまたはブレーキディスクを交換した後は、ブレーキディスクとブレーキパッドが再度適合し、調和することを確認するため、点検と慣らし運転を行うことをお勧めします。適切な慣らし運転は、ブレーキの感触を改善し、ブレーキノイズを低減または解消することができます。



警告

新しいブレーキシステムや新しいブレーキパッドを使用する場合、初期の制動力が弱すぎる可能性があります。ブレーキシシステムが正常な制動力を発揮するよう、低速かつ安全な状態でブレーキパッドとブレーキディスクの慣らし運転を行ってください。

パーキングブレーキ

ウルトラビーにはパーキングブレーキが装備されています。リアブレーキレバーを押した状態では、リアホイールがロックされます。パーキングブレーキは定期的に点検してください。

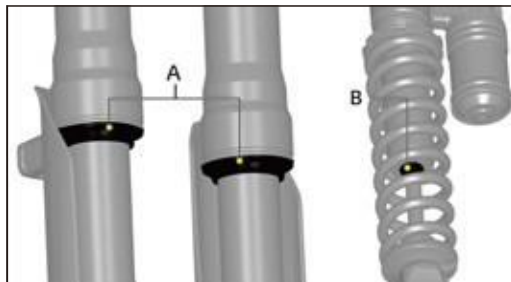
パーキングブレーキ点検

1. ウルトラビーをジャッキスタンドで持ち上げ、後輪を地面から離します。
2. リアブレーキハンドルをしっかりと握ります。
3. リアブレーキのパーキングパドルを、押し込めなくなるまで確実にパーキング位置まで押し込んでください。
4. リアブレーキレバーを離し、その後パーキングブレーキレバーを解放してください。
5. この時点でバイクは確実に駐車でき、駐車ギアによって制動力が異なります。

警告

パーキングブレーキが後輪を効果的にロックできない場合は、速やかに正規販売店またはSuronアフターサービスまでご連絡ください。

リアショックアブソーバー



1. 各走行後、特にメインユニット表面に付着した泥や砂は、すぐにショックアブソーバーの表面を清掃することをお勧めします。

高圧洗浄機で洗浄する際、防塵シールAおよびBに向かって上方向への洗浄は厳禁です。これにより泥や砂がオイルシール内部に流入し、摩耗やオイル漏れを引き起こします。

2. 防塵オイルシールを損傷する恐れがあるため、可燃性または腐食性の溶剤を使用して清掃しないでください。中性洗剤と柔らかい綿布を使用して清掃することをお勧めします。

3. 清掃後、メインパイプ表面に潤滑グリースを薄く塗布し、表面全体を十分に潤滑することを推奨します。

メンテナンス

警告

ショックアブソーバーには高圧ガスまたは液体が入っています。ショックアブソーバーを改造したり分解したりしないでください。ガスシリンダーへの衝撃、高温、または直火を避けてください。走行後はショックアブソーバーとガスシリンダーが高温になっている場合がありますので、火傷にご注意ください。ショックアブソーバーの不適切な操作は、損傷や重大な人身事故の原因となる可能性があります。メンテナンスについては、102 ページおよび 77 ページの調整に関するメンテナンススケジュールを参照してください。

10.9

両方のホイールを以下の点について点検してください：

リムの曲がり、歪み、ひび割れ。リムへの衝撃痕。

スポークの緩み、曲がり、欠落。

トレッド部またはサイドウォール部に、切り傷、ひび割れ、貫通損傷、裂け目、トレッドブロックの欠損がないか。

タイヤの膨らみ、隆起、あるいはタイヤの糸やコードが露出している状態。タイヤ

のトレッドが不均一に摩耗していないか。

タイヤ取り付けマークの高さが不均一である。

上記のいずれかの状態が確認された場合は、直ちにホイールおよび/またはタイヤを交換してください。

タイヤ空気圧

警告

タイヤ空気圧の不適切さは、タイヤ故障の一般的な原因です。長時間にわたり不適切な空気圧で走行すると、タイヤ損傷、トレッドの剥離、さらにはバイクの制御不能を引き起こし、重大な人身事故や損害につながる可能性があります。走行前には必ずタイヤ空気圧を確認し、適切な空気圧に調整してください。タイヤが冷えている状態で、正確な空気圧計を使用して空気圧を確認してください。

推奨タイヤ空気圧表

推奨	フロントホイール	リア
オフロードタイヤ	225kPa	225kPa

注意

オフロードタイヤの推奨空気圧範囲は、ダートトラックやトレイル走行シーンにおいて100～150kPaです。

10.10

チェーンの点検および保守については、102 ページの保守スケジュールを参照してください。102に記載のメンテナンススケジュールを参照してください。

- チェーンの汚れが蓄積していないか確認し、チェーンとスプロケットを清潔に保ってください。
- チェーンの摩耗、張力、潤滑状態を確認してください。

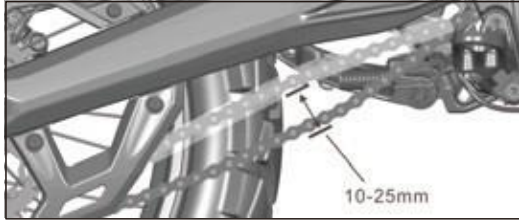
(1) モーターストップスイッチをオフにした後、オートバイのキースイッチをオフにし、キーをオートバイから取り外し、オートバイリフトスタンドを使用してオートバイの車輪を地面から持ち上げます。手でチェーンを上下に動かして、チェーンの張りが推奨範囲（10～25mm）内にあるかどうかを確認します。

(2) チェーンの張りが規定値に達していない場合は調整してください。調整時はまず後輪のアクスルナットを緩め、左右の調整ボルトを操作してチェーンの張りを推奨範囲内に調整します。

(3) チェーンには適量のチェーンオイルまたはチェーンワックスを塗布して潤滑してください。

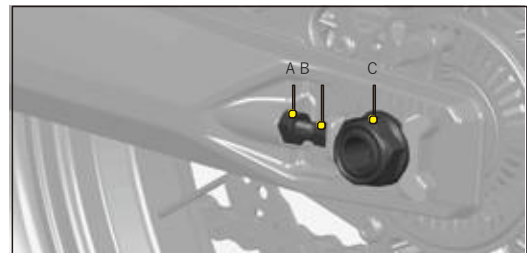
警告

- チェーンの張力が推奨範囲を超えた場合、走行中にチェーンが上下に動き、スイングアームの保護ゴムを損傷します。さらなる損傷を防ぐため、速やかに調整してください。
- 調整後は、左右のチェーンアジャスターのマークがスイングアーム上のマークに対して左右対称になるようにしてください。



チェーン調整

- リフトスタンドを使用して後輪を地面から浮かせて、モーターストップスイッチをオフにし、キースイッチからキーを抜いてください。
- リアアクスルナットCを緩めます。
- 左右の調整ボルトBのロックナットAを緩めます。
- 左右の調整ボルトBを均等に調整し、チェーンが規定範囲内に収まるようにします。
- 後輪軸ナットCを締め付けます。
- 左右のロックナットAを締め、調整ボルトBの位置を固定します。
- 試乗を行います。
- 試乗後、チェーンが正しく調整されているか再度確認し、必要に応じて再調整してください。



警告

チェーンの張りを調整する際は、両側の調整ボルトを均等に調整してください。

ヘッドライト調整

ヘッドライトの照射角度は定期的に点検する必要があります。バイク全体の角度を変更した後は必ず再調整を行ってください。バイク全体の角度変化はヘッドライトの照射角度に影響を与えるためです。ヘッドライト調整前には、サスペンションシステムとタイヤ空気圧を適切に調整する必要があります。ヘッドライトの照射角度は垂直方向に調整可能です。ヘッドライトの照射角度が適切でない場合、ビームが近すぎたり遠すぎたりする原因となります。

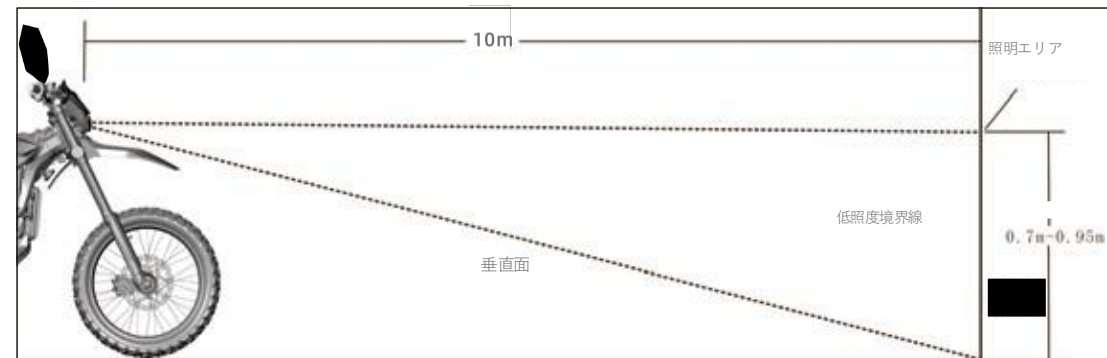
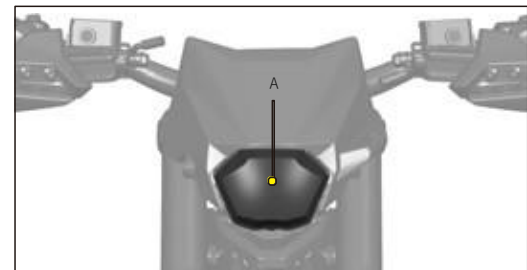


ヘッドライト角度調整手順：

- ヘッドライトがロービーム位置にあるとき、バイクは地面に対して垂直に置きます。
- 運転者が乗車した状態でビームアングルを確認する。
- ヘッドライトの照射角度を調整するには、ヘッドライト両側にある調整ネジAを、適切なビーム角度が得られるまで回してください。
- 適切な照射角度は、オートバイのヘッドライトが10メートル離れた位置にあるとき、近距離の明暗境界線が地面から0.7～0.95メートルの高さにある状態です。

ライト交換

ヘッドライト A が損傷した場合は、正規の Surron 販売店に連絡して完全な交換を行ってください。



洗車

1. スポンジまたは清潔な柔らかい布、中性洗剤と水を使用して、バイクを優しく洗浄してください。
2. ダッシュボードの清掃時は特に注意してください。他の部分より傷がつきやすくなっています。
3. 洗浄後、洗剤の残留物を完全に除去するため、水で十分にすすいでください。
4. 柔らかい乾いたタオルでバイクを乾かしてください。
5. 洗浄後は、損傷、摩耗、漏れがないか確認してください。

オートバイの洗浄後は、チェーンおよび潤滑が必要なその他の部品をメンテナンスしてください。すべての電気部品は、完全に乾いてから操作してください。Ultra Beeを洗浄後すぐに走行する場合は、安全で低速な状態でブレーキを数回作動させ、ブレーキパッド上の水分や異物を取り除いてください。

警告

洗浄後、走行開始前にブレーキシステムが正常に作動することを確認してください。

警告

不適切な洗浄はオートバイ部品を損傷する可能性があります。ベアリング、シール、電気部品、プラグを高圧洗浄機で洗浄しないでください。ウルトラビー電動オートバイの寿命を延ばすため、定期的な清掃とメンテナンスを行い、洗浄後はできるだけ早く乾拭きすることをお勧めします。

プラスチック部品には刺激の強い化学製品を使用しないでください。強力な腐食性洗浄剤、溶剤、シンナー、燃料（ガソリン）、錆取り剤・錆防止剤、ブレーキフルード、不凍液がウルトラビーに接触しないようにし、特定の部品の損傷を避けてください。

注記

ウルトラビーの清掃には、バイク部品を損傷しないよう、高圧洗浄機の使用には十分ご注意ください。

ホイールとタイヤの洗浄

強酸性のホイールクリーナーの使用は避けてください。頑固な汚れを落とすためにこの種の製品を使用する場合は、短時間で洗浄し、直ちに乾燥させてください。

警告

タイヤは清潔に保つだけで十分です。タイヤ用光沢剤や強酸性化学製品は、タイヤと地面の摩擦を減少させ、タイヤの寿命を縮める可能性があります。

長期保管

長期間（30日以上）使用していない電動バイクについては、バッテリーの充電状態（SOC）を約60%～80%まで充電し、Ultra Bee電動バイクとバッテリーパック間のケーブルを断線することを推奨します。

バッテリーパックは保管中に自然放電します。最低でも月に1回はバッテリーパックのSOCを確認してください。次回の走行計画時には、最大航続距離を確保するためバッテリーパックを完全に充電してください。

電力システムの寿命を延ばすため、ウルトラビーは涼しく風通しの

良い場所に保管してください。高温多湿の場所に保管すると、バッテリーパックと電気システムの寿命が短くなります。バッテリーと電気システムの詳細については、8.1をご覧ください。

警告

ウルトラビーは、バッテリー充電状態（SOC）が30%未満の状態で保管しないでください。バッテリーパックを30%未満まで放電した状態で長期間保管すると、バッテリーパックの寿命が短くなるか、バッテリーパックが損傷する可能性があります。過放電や長期にわたる極端に低いSOC状態など、不適切な保管やメンテナンスはバッテリーパックを損傷させ、保証の対象外となります。

また、保証の対象外となります。

注記

バッテリーパックのメンテナンスサービスは、Surronが認定した専門訓練を受けた技術者のみが実施可能です。バッテリーパック内部部品の無許可での取り扱いには危険です。バッテリーパックを分解しないでください！

Ultra Bee 電子部品

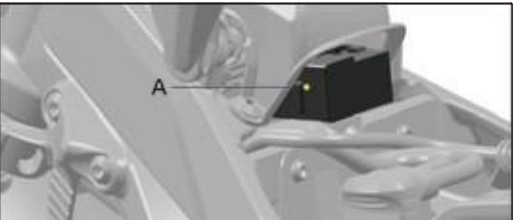
ウルトラビーの部品やアクセサリは、バイクの他のシステムと補完し機能するよう設計されており、メーカー指定の部品やアクセサリが必要です。ウルトラビーのメンテナンス用純正スベアパーツは、お近くのサーロン正規販売店で求めいただけます。

ヒューズ

本車両の電気系統には多チャンネル過負荷保護装置が装備されています。ヒューズは1回限りの保護装置であり、回路が過負荷状態になると溶断して保護します。ヒューズ交換時は同仕様モデルを使用してください。

警告

ヒューズが繰り返し溶ける場合は、お近くのサーロン正規販売店に連絡し、電気系統の点検を受けてください。



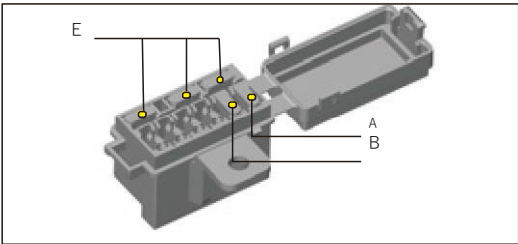
低電圧ヒューズボックス

低電圧ヒューズボックスはUSBカバーの下にあります。

ヒューズボックスには保護キャップが付いており、ヒューズにアクセスするにはまずこのキャップを開ける必要があります。キャップを開けるには、ボックス側面のタブをしっかりと押し下げてキャップを開けてください。

低電圧ヒューズの交換方法：

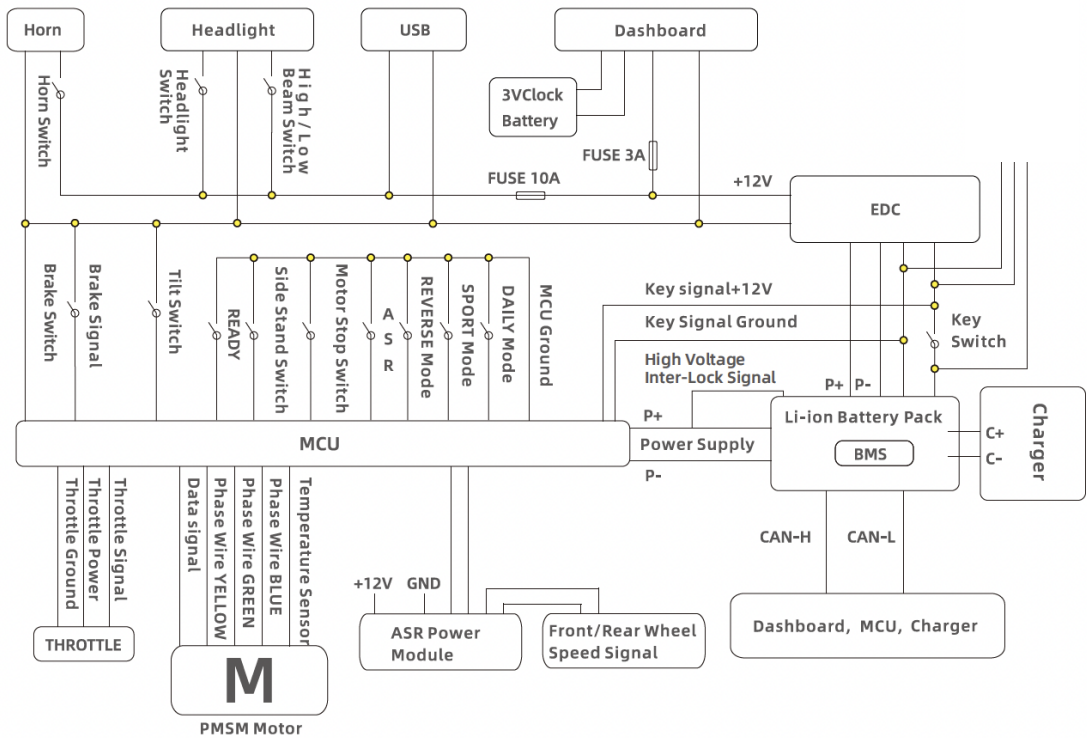
1. ヒューズボックスを挟み、ヒューズボックス右側のキャップを開けます。
2. 不良ヒューズを同仕様のモデルと交換してください。



12ガルトヒューズの値と対応する回路機能は以下の通りです：

ヒューズ	定格	機能
A	10A	オートバイ用メインヒューズ
B	3A	ダッシュボード
E	3A/10A	バックアップ

回路図



トラブルシューティング

トラブルシューティング

すべてのウルトラビーは出荷前に厳重に検査されています。厳重な検査を経ていてもかわらず、技術的な問題が偶発的に発生する可能性があります。以下の情報は、問題の特定や基本的な修理・メンテナンスを行うためのガイドラインを提供します。ご自身で問題を解決できない場合は、お近くのサーロン正規販売店にお問い合わせください。お住まいの地域に販売店がない場合は、サーロンのアフターサービスチームまでご連絡ください。

セーフティインジケータロック

バッテリーパックがバイクに接続されている状態で、バッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、バッテリーパックの損傷を防ぐため、以下の2つの対策のいずれか、または両方が実施されます：

走行禁止。バッテリーパックの充電状態（SOC）が0の場合、またはバッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、問題が解決されるまでモーターサイクルの使用が禁止されます。

充電禁止。バッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、充電器に接続され交流電源に接続されていても、問題が解決されるまで充電を禁止します。

注意事項

ウルトラビーには高電圧部品が使用されていますので、ご使用の際は適切な予防措置を講じてください。これらの部品に使用される高電圧は危険であり、火傷、感電、さらには重篤な人身事故を引き起こす可能性があります。

安全のため、常にバイク部品に貼付されているラベルの指示に従い、高電圧部品、配線（オレンジ色の外装チューブで識別）、コネクタに触れたり、取り外し・交換を試みたりしないでください。事故発生時には、配線に接続された高電圧端子や部品に触れないでください。電動バイクで火災が発生した場合は、まず自身の安全を確保し、その後D種消火器を使用して消火してください。消火後は大量の水または水系消火器で冷却してください。必ず消防署に連絡し、リチウムイオン電池搭載電動バイクが火災を起こしている旨を伝えてください。



- FETCH LOG

トラブルシューティング

警告

ウルトラビーは74ボルトの高電圧システムを採用しています。同時に、使用後は電源システムが触れないほど高温になる場合があります。高電圧と高温に注意し、すべての安全規則と規制を遵守してください。

警告

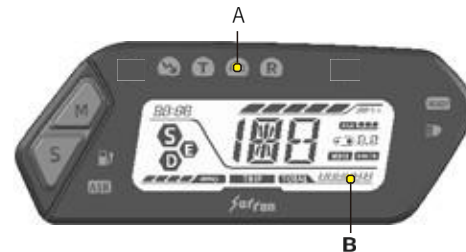
電動バイクの高電圧回路システムは、お客様自身によるメンテナンスを禁止します。高電圧部品、ケーブル、コネクタの取り外しや交換は、重度の火傷や感電、さらには生命に関わる重傷を引き起こす可能性があります。高電圧ケーブルは識別しやすいようオレンジ色で表示されています。

システム警告メッセージ

故障が検出されると、ダッシュボード上部のオレンジ色の故障インジケータAが点灯し、対応する警告コードがダッシュボードLCD画面のBエリアに表示されます。

注記

オートバイに不具合が生じた場合、総走行距離モードでは故障インジケータが点灯します。TRIPモード時は、エラーコードがLCD画面に順次表示されます。



原因と解決策については、次ページ以降の表を参照してください。

-フェッチライト-
1RB-

11.2

警告コード一覧表

警告コード	説明	解決策
ER-000	ダッシュボード データ通信保護	ダッシュボードの配線接続を確認
ER-003	過放電保護（レベル2）	セーフモードに入っている場合、 モーターのローターがロックされていないか確認する
ER-004	REGEN過電流保護（レベル2）	REGEN設定値を下げる
ER-008	バッテリー放電MOS 過熱保護（レベル2） 温度保護（レベル2）	バイクの使用を中止し、製造元または正規販売店に連絡してください
ER-01 0	バッテリー充電MOS 過熱 温度保護（レベル2）	充電を停止し、 メーカーまたは正規販売店に連絡してください
ER-011	起動時過熱自己診断 温度保護（レベル1）	キースイッチをOFFにし、再度ONに戻す
ER-01 3	電池セル温度 アンバランス保護（レベル2）	バイクの使用を中止し、製造元または認定販売店に連絡してください
ER-01 5	バッテリーパック絶縁保護（レベル2）	
ER-01 7	バッテリーセル容量 アンバランス保護（レベル2）	販売店にお問い合わせください
ER-01 9	バッテリーセル低電圧保護（レベル3）	バッテリーパックの充電
ER-022	放電過電流保護（レベル3）	バイクの使用を中止し、製造元または正規販売店に連絡してください
ER-024	電池セル放電過熱 温度保護（レベル3）	バイクの使用を中止し、温度が作動状態に戻るまで待機してください
ER-025	バッテリーセル 放電低温度保護（レベル3）	
ER-030	BMS保護基板1エラー	Surron または認定販売店にお問い合わせください
ER-03 1	BMS 保護ボード 2 エラー	
ER-037	バッテリーホールセンサーエラー	

- FETC HLIGH
HT -

警告 コード	説明	解決策
ER-038	バッテリー電圧センサーの誤作動	サーロンまたは認定販売店に連絡
ER-040	バッテリー全温度センサーエラー	
ER-041	起動時自己 診断温度セ ンサーエラ ー	
ER-043	バッテリー放電MOSエラー	
ER-044	バッテリー充電MOSエラー	
ER-100	MCU 電子管エラー	
ER-10I	MCU過電流保護（レベル1）	バイクが低電力モードに入る
ER-104	モーター位置センサーエラー	Surron または認定販売店にお問い合わせください
ER- J05	モーターのロックドローターエラー	モーターがロックドローター状態かどうかを確認してください
ER-106	MCU サンプリングエラー	Surron または認定販売店に連絡してください
ER-107	MCU 過熱保護（レベル2）	バイクの使用を中止し、MCUの温度が動作状態に戻るまでお待ちください
ER-108	モーター過熱保護（レベル2）	バイクの使用を中止し、 モーター温度が作動状態に戻るまでお待ちください
ER-109	メイン電源ケーブ ルの瞬断低電圧 保護	MCUメイン電源ケーブルを確認
ER-110	メイン電源ケー ブル 低電圧保護 （レベル3）	バッテリーパックの充電
ER-111	単相電源ケーブル 高電圧保護	REGEN機能無効化
ER- J13	バッテリーセル 過熱低温温度保 護（レベル3）	バイクの使用を中止し、 動作可能温度に戻るまでお待ちください
ER-J J4	スロットル信号保護	スロットルケーブルが短絡しているか、 アイドリング位置に戻らない状態になっていないか確認

- FETC HLIGH
T -

@
-

トラブルシューティング

警告コード	説明	解決策
ER-115	スロットル接地保護	電子ブレーキの短絡確認
AL-116	ブレーキオーバーライド作動	ブレーキオーバーライドシステムの短絡を確認
AL-117	サイドスタンドスイッチ/モーターストップスイッチ作動	サイドスタンドスイッチがまだ下になっているか確認
AL-118	チルトスイッチ保護	チルトスイッチを確認
ER-119	メイン電源ケーブル 低電力保護	バイク通信ケーブルを確認し、 バッテリーパックを充電
ER-127	Niotor 温度センサーエラー	正規販売店に連絡
AL-128	REGEN が無効化されています	バッテリーの温度と電圧を確認してください
ER-129	CAN 通信エラー	すべての配線とケーブルを確認してください
ER-130	速度センサーエラー	前輪と後輪の速度センサーが正しく接続されているか確認してください
ER-131	メイン電源ケーブル瞬時高電圧保護	REGEN 機能を無効化
ER-131	キースイッチ電源緩み保護	キースイッチと MCU ケーブルの接続を確認
ER-134	MCU ファームウェア誤動作保護	キースイッチをOFFにしてから再度ONにする
ER-135	電池セルの高電圧差保護	製造元または正規販売店にお問い合わせください
ER-136	高MOS放熱温度MCU保護	バイクの使用を中止し、温度が作動状態に戻るまでお待ちください
ER-137	バッテリーセルの低電圧保護	バッテリーパックを充電し、 メーカーまたは正規販売店に連絡
ER-138	MCU 再生保護	キースイッチを OFF にし、再度 ON に戻す
ER-140	バッテリー内部温度の不均衡	メーカーまたは正規販売店に連絡

- FETCH LIGHT -

トラブルシューティング

警告コード	説明	解決策
ER-141	バッテリーの絶縁不良	製造元または正規販売店に連絡
ER-144	BMS 放電過電流電力制限	低電力モード（レベル J ）
ER-145	電池セル高電圧差電力制限	低電力モード（レベル 2 ）
ER-146	高 MOS 放電温度電力制限	バイクの使用を中止し、温度が作動状態に戻るまでお待ちください
AL-147	バッテリーセル低電圧電力制限	バッテリーパックの充電および製造元または正規販売店

11.6

- FETCH LIGHT -

トラブルシューティング

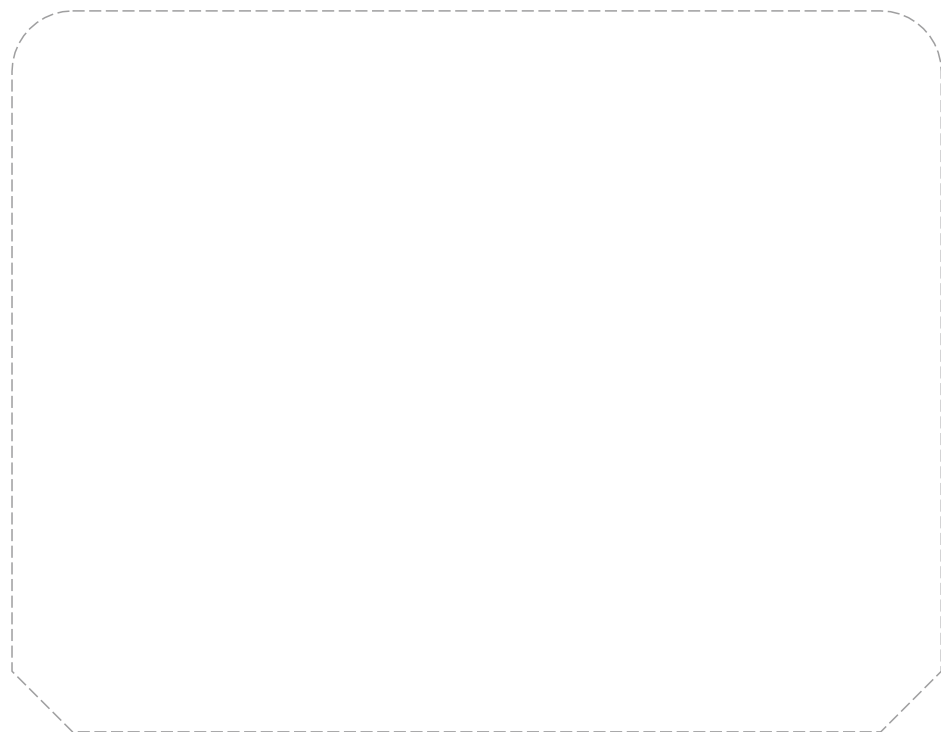
トラブルシューティング

故障	考えられる原因	アクション
バイクが起動しない P + ← H	バッテリーが正しい位置に接続されていない	バッテリープラグを確認
	バッテリーのSOCが低すぎる	バッテリーを充電中
	バッテリーが温度保護状態に入りました	温度が動作条件に戻るまでお待ちください
	メインハーネスのヒューズが溶断	すべての配線とケーブルを確認し、ヒューズを交換してください
	キースイッチが正しく作動していない	キースイッチを再点検するか、新しいキースイッチと交換してください
	DCコンバータエラー	DCコンバーターを交換してください
	バッテリーの不具合	Suronまたは正規販売店に連絡
電源が入っているがバイク が動かない	サイドスタンドスイッチ保護	サイドスタンドを上げてください
	ブレーキオーバーライド保護	ブレーキオーバーライドシステムを確認
	傾斜センサーが作動したがリセットされていない	キースイッチをオフにし、再度オンにする
	スロットルがアイドル位置にない	スロットル位置を確認してください
	バッテリー残量低下の保護機能作動	バッテリー充電中
	モーター温度保護	温度が 動作状態に戻るまで待機
	MCU温度保護	
	サイドスタンドスイッチ異常	サイドスタンドスイッチを外すか交換する
	ブレーキオーバーライドシステムエラー	ブレーキオーバーライドスイッチの切断または交換
	ティルトセンサーエラー	テルトセンサーの切断または交換

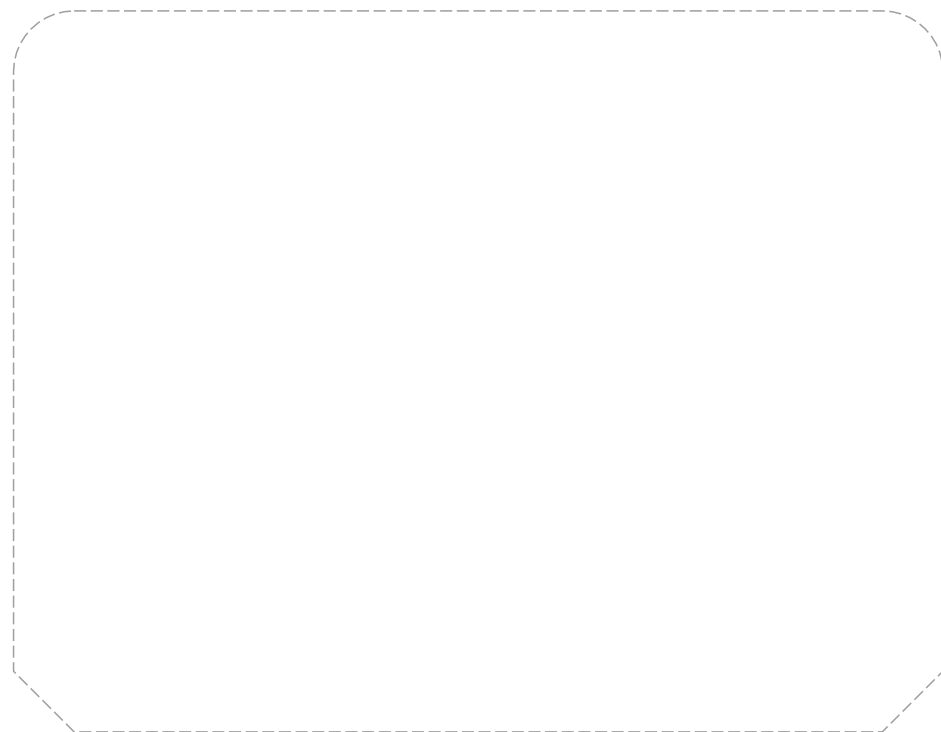
故障	考えられる原因	操作
電源が入っているがバッテリーの SOCが表示されない	スロットルエラー	スロットルを交換する
	MCUが所定位置に差し込まれていない	MCUプラグ接続を確認
	モーターエンコーダが所定の位置に接続されていない	モーターエンコーダのプラグ接続を確認してください
	MCUまたはモーターエンコーダーエラー	認定販売店に連絡し、MCUの修理または交換を依頼してください
		認定販売店に連絡し、モーターの修理または交換を依頼してください
バイクの電源が入っているが、バッ テリーのSOCが表示されない	クローンメーターが（正しく）接続されていない	メーカーまたは正規販売店に連絡し、バッテリーの修理ま たは交換を依頼してください
	クローンメータエラー	
充電器が作動しない	バッテリーが温度保護状態に入る	温度が動作条件に戻るまでお待ちください
	充電器が正しく接続されていない	電源とプラグを再度確認してください
	充電器の故障	充電器を交換してください
	バッテリーの故障	製造元または正規販売店にお問い合わせください
温度を 動作状態に戻る	バッテリー残量低	バッテリーを充電してください
	バッテリー温度保護	温度が動作状態に戻るまで待機
	MCUまたはモーター温度保護	
	走行モードスイッチエラー	走行モードスイッチを交換
USB プロテクト、電源なし	USBが正しく接続されていない	USB接続を確認し、再度差し込む
	USBコンバータエラー	USBコンバーターを交換する

注：上記の情報は随時更新されます。最新バージョンは当社ウェブサイトでご確認ください。

11.9



11.10



バイクの整備後は、必ず適切な整備記録が記入されていることを確認してください。「備考」欄に、次回整備時に確認したい事項や自身への注意点を記録してください。

13.1

走行距離計の読み取り値		実施者		日付	
Maintenance Record Sheet					
Remark					

13.2

走行距離		実施者		日付	
Maintenance Record Sheet					
Remark					

走行距離計の読み取り値		実施者		日付	
Maintenance Record Sheet					
Remark					

走行距離		実施者		日付	
Maintenance Record Sheet					
Remark					

走行距離計の表示		実施者		日付	
Maintenance Record Sheet					
Remark					

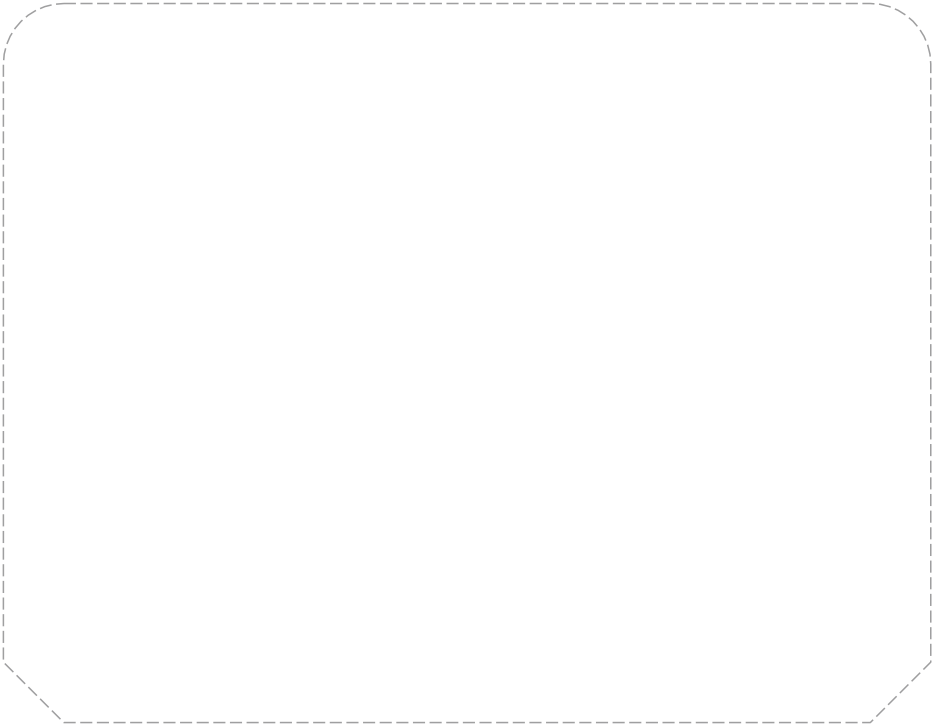
走行距離		実施者		日付	
Maintenance Record Sheet					
Remark					

アフターサービス 記録シート					
	走行距離計の読み取り値	保証項目	実施者	日付	備考
1					
2					
3					
4					
5					

アフターサービス 記録シート					
	走行距離計の読み取り値	保証項目	実施者	日付	備考
6					
7					
8					
9					
10					

技術仕様

仕様	Ultra Bee X HP / Ultra Bee T HP
車両モデル	QL6000DY-A / QL6000DY-B
寸法	2080mm×830mm×1180mm / 2080mm×850mm×1180mm
最低地上高	315mm
シート高	910mm
車両重量	88.5 / 91Kg
積載量	100kg
フロントタイヤ	80/100-19 オフロードタイヤ
リアタイヤ	100/90-18 オフロードタイヤ
アシスト機能	ASR+ BERS
ホイールベース	1380mm
フロントフォークストローク	240mm
リアショック/ホイールストローク	85/240mm
電源システム	ミッドドライブ BLDC モーター+ FOC 正弦波コントローラー
定格出力	6KW
ピーク出力	21KW
最大トルク	510N・m
最高速度	95km/h
航続距離	115Km @50Km/h
バッテリータイプ	74V/60Ah リチウムイオン取り外し可能バッテリーパック
充電時間	4.5時間
フレーム設計	アルミ鍛造フレーム
走行モード	エコ / デイリー / スポーツ / ターボ / クロールモード+ リバースモード



コンプライアンスの責任者が明示的に承認していない変更や改造は、ユーザーが機器を操作する権限を無効にする可能性があります。

注意

本機器は、FCC規則第15部に準拠し、クラスBデジタル機器の制限値に適合することが試験により確認されています。これらの制限値は、住宅環境における有害な干渉から合理的な保護を提供するために設計されています。本機器は無線周波エネルギーを発生・使用し、放射する可能性があり、指示通りに設置・使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす恐れがあります。ただし、特定の設置環境において干渉が発生しない保証はありません。本機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合（機器の電源をオフにしてからオンにすることで確認可能）、ユーザーは以下の対策のいずれかまたは複数を試み、干渉の解消を図るよう推奨します：

- 受信アンテナの方向や設置場所を変更する。
- 本機器と受信機の間隔を広げる。
- 別の回路のコンセントに接続する。

受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに接続する。
。
4.販売店または経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談してください。
技術者に相談してください。

あなたと環境

オートバイの所有と走行は楽しいものですが、自然保護のためには各自の責任を果たす必要があります。土地、野生生物、そして他の人々への敬意を示すことは、オフロード走行というスポーツの保護にもつながります。

環境に配慮したオートバイオーナーになるためのヒントを以下に示します。
環境に配慮したオートバイオーナーになるためのヒントです。

- 適切な洗浄剤を選びましょう。ウルトラビーを洗う際は生分解性洗剤を使用してください。大気の保護層であるオゾン層を破壊するクロロフルオロカーボンを含むエアゾール式スプレー洗浄剤は避けてください。洗浄溶剤は廃棄しないでください。適切な処分方法については以下のガイドラインを参照してください。
- 廃油はリサイクルを。使用済みエンジンオイルをゴミ箱や排水溝、地面に捨てるのは違法であり無責任な行為です。クーラントや洗浄溶剤には毒性物質が含まれており、廃棄物処理作業員を傷つけ、飲料水となる湖や川、海を汚染する恐れがあります。
- 有害廃棄物は密封容器に分別し、リサイクルセンターへ持ち込みましょう。お住まいの地域の

公共事業局または環境サービス局に連絡し、お住まいの地域のリサイクルセンターを探し、リサイクルできない廃棄物の処分方法について指示を受けてください。排出された液体を不適切に処分すると、環境に悪影響を及ぼします。



-FETCH LIGHT-飞起来-